

科目名			担当教員		
歯科補綴学			八丁 裕次		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	1	30	講義	○
授業の目的 (GIO)		歯科衛生士の資質向上をはかることを目的にし、咀嚼障害・咬合異常に対する歯科補綴治療の基礎知識を習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「歯科補綴学」(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験の結果および授業への出席、意欲、関心を評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：八丁 裕次			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯科衛生士の資質向上をはかることを目的にし、咀嚼障害・咬合異常に対する歯科補綴治療の基礎知識を習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/10	歯科補綴治療とは	歯の欠損による顎口腔系の変化補綴治療の目的と意義	歯の欠損に伴う顎口腔系の形態的、機能的变化を列挙し、補綴装置による形態と機能の回復を理解する。	八丁
2	4/17	歯冠補綴装置の種類	歯冠補綴装置の種類、特徴およびその適応	歯冠補綴装置の種類、特徴およびその適応について理解する。	八丁
3	4/24	クラウンブリッジ治療	前処置、支台築造、支台歯形成について	クラウンブリッジの治療の流れについて理解する。	八丁
4	5/1	クラウンブリッジ治療	プロビジョナルレストレーション、印象採得について	クラウンブリッジの治療の流れについて理解する。	八丁
5	5/8	クラウンブリッジ治療	咬合採得、作業用模型製作、咬合器について	クラウンブリッジの治療の流れについて理解する。	八丁
6	5/15	クラウンブリッジ治療	補綴装置製作、装着、術後管理について	クラウンブリッジの治療の流れについて理解する。	八丁
7	5/22	インプラント治療	インプラント治療について	インプラント治療の流れについて理解する。	八丁
8	5/29	歯科補綴治療とは	目的と意義、歯科衛生士の役割	QOLと補綴治療の関連性と重要性について理解する。	八丁
9	6/5	有床義歯治療	全部床義歯の製作の流れ	全部床義歯の治療の流れについて理解する。	八丁
10	6/12	有床義歯治療	全部床義歯の製作の流れ	全部床義歯の治療の流れについて理解する。	八丁
11	6/19	有床義歯治療	部分床義歯の構成要素	部分床義歯の構成要素について理解する。	八丁
12	6/26	有床義歯治療	部分床義歯の製作の流れ	部分床義歯の治療の流れについて理解する。	八丁
13	7/3	有床義歯治療	部分床義歯の製作の流れ、粘膜疾患	部分床義歯の治療の流れ、および義歯による粘膜疾患について理解する。	八丁
14	7/10	有床義歯治療	粘膜調整、リライン、義歯の補修、材料・器具	粘膜調整、リライン、義歯の補修および補綴治療で用いる材料・器具について理解する。	八丁
15	7/17	有床義歯治療	材料・器具	補綴治療で用いる材料・器具について理解する。	八丁

科目名			担当教員		
小児歯科学			八丁 裕次		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	1	30	講義	○
授業の目的 (GIO)		小児期から成人に至るまでの全身と口腔領域の正常な成長発育を理解するとともに、口腔領域に発生する疾患や異常に対して小児の成長発育を考慮した予防、治療ならびに口腔健康管理について診療補助として必要な事項を理解する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「小児歯科学」(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験の結果および授業への出席、意欲、関心を評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：八丁 裕次			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、小児期から成人に至るまでの全身と口腔領域の正常な成長発育を理解させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/10	小児歯科の臨床的意義	1. 意義と目的 2. 成人歯科との相違	1. 成長・発育・発達を考慮し、個々の口腔変化を予測する学問である事を説明できる。 2. 小児の特異性を説明できる。	八丁

2	4/17	人体の成長、発達発育	1. 身体の発育 2. 精神の発達 3. 小児の生理的特徴	1. 身体の成長・発育・発達を説明できる。 2. 発育期の分類について説明できる。 3. 暦齢と生理的年齢について説明できる。 4. 身体の発育評価法について説明できる。 5. 成長発育に影響する因子について説明できる。 6. 身体の発育について説明できる。 7. 胎生期、出生時、出生後の成長発育および特徴について説明できる。 8. 人体諸器官の成長、発育および加齢による変化を説明できる。 9. 身体の運動機能の発達、情動の発達および言語の発達について説明できる。 10. 原始反射について説明できる。 11. 小児の生理的特徴について説明できる。	八丁
3	4/24	成長期の歯科診療	1. 小児期の特徴 2. 口腔、顎、顔面、頭蓋の発生と成長 3. 歯の発生、発育、形成障害	1. 小児期の特徴について説明できる。 2. 顎、顔面、頭蓋の発育について説明できる。 3. 顎、顔面の発育の評価について説明できる。 4. 歯の発育段階、発育時期および形成障害について説明できる。 5. 歯の形成障害の原因について説明できる。 6. 歯の萌出機序について説明できる。 7. 乳歯と永久歯の萌出時期と順序について説明できる。 8. 歯の萌出異常について説明できる。	八丁
4	5/1	成長期の歯科診療	1. 乳歯と幼若永久歯の特徴 2. 歯列の成長発育	1. 乳歯の形態的、構造的、物理・化学的特徴について説明できる。 2. 乳歯の歯髄の特徴について説明できる。 3. 歯の咬耗について説明できる。 4. 乳歯歯根吸収、脱落の機序について説明できる。 5. 幼若永久歯の定義、形態および構造について説明できる。 6. 咬合発育段階について説明できる。 7. 無歯期、乳歯列期、第一大臼歯萌出期、永久切歯萌出期、側方歯群萌出期、第二大臼歯萌出期の特徴について説明できる。 8. 歯列・咬合の異常の原因について説明できる。 9. 乳歯と永久歯咬合に影響をおよぼす環境因子について説明できる。 10. 歯の早期喪失が歯列におよぼす影響について説明できる。	八丁
5	5/8	小児患者の対応	1. 診療時に必要な小児の心理 2. 患児、保護者、術者との関係 3. 医療環境との関係 4. 歯科的対応法の実際 5. 年齢別にみた一般的対応法 6. 非協力児への対応法 7. 鎮静、減痛的処置 8. 全身麻酔下集中治療	1. 歯科診療時に必要な小児の心理について説明できる。 2. 患児、保護者、術者との関係の重要性について説明できる。 3. 小児歯科の医療事故防止対策や診療室内の環境について説明できる。 4. 小児の歯科的対応法について説明できる。 5. 年齢別の対応法について説明できる。 6. 非協力児への対応法について説明できる。 7. 小児の鎮静、減痛的処置について説明できる。 8. 全身麻酔下集中歯科治療について説明できる。	八丁
6	5/15	小児歯科診療における補助 1	小児患者の診療方針 1. 診査と診断 2. 治療計画 3. 患者教育	1. 小児の口腔疾患に対する診査法、診断法および治療計画について説明できる。 2. 口腔疾患の予防と対策法について説明できる。	八丁
7	5/22	小児歯科診療における補助 2	1. 補助者の役割 2. 小児の歯冠修復 3. 小児歯周疾患の予防と処置	1. 小児歯科診療における補助者の役割について説明できる。 2. 診査時や麻酔時の補助について説明できる。 3. ラバーダム防湿の目的について説明できる。 4. 乳歯の歯冠修復について説明できる。 5. コンポジットレジン修復法、インレー修復法、乳歯既製金属冠修復法、鋳造冠修復法、コンポジットレジン冠修復法について説明できる。 6. 幼若永久歯の歯冠修復法について説明できる。 7. 健全な歯周組織について説明できる。 8. 小児歯周疾患の種類、罹患率、診査法、評価法について説明できる。 9. 小児歯周疾患の予防と処置法について説明できる。	八丁
8	5/29	小児歯科診療における補助 3	小児の歯内療法	1. 乳歯歯内療法の診査、診断について説明できる。 2. 乳歯歯髄炎の処置について説明できる。 3. 暫間的間接覆髄法について説明できる。 4. 乳歯の歯髄切断法について説明できる。 5. 乳歯の抜髄法について説明できる。 6. 乳歯の感染根管治療法について説明できる。	八丁

9	6/5	小児歯科診療における補助 4	1. 小児の外科処置 2. 小児の歯の外傷	1. 乳歯抜去の適応症、禁忌症について説明できる。 2. 局所麻酔法について説明できる。 3. 乳歯の抜歯の術式について説明できる。 4. 抜歯の後処置と留意点について説明できる。 5. 全身疾患と抜歯の問題点について説明できる。 6. 過剰歯の抜歯について説明できる。 7. 小帯異常の処置について説明できる。 8. 小児の歯の外傷の疫学、分類および処置法について説明できる。 9. 乳歯外傷が永久歯におよぼす影響について説明できる。 10. 歯の外傷の予後について説明できる。	八丁
10	6/12	小児歯科診療における補助 5	1. 咬合誘導概論 2. 保隙と保隙装置 3. 咬合誘導法	1. 咬合誘導の意義と目的について説明できる。 2. 咬合誘導上必要な診査、診断について説明できる。 3. 保隙の目的、適応症および必要条件について説明できる。 4. クラウンループ保隙装置について説明できる。 5. ディスタルシュー保隙装置について説明できる。 6. 舌側弧線保隙装置について説明できる。 7. ナンスのホールディングアーチ保隙装置について説明できる。 8. 可撤式床型保隙装置について説明できる。 9. 積極的な咬合誘導法について説明できる。 10. 口腔領域の悪習癖と対応について説明できる。	八丁
11	6/19	小児のう蝕予防 1	1. 小児のう蝕疫学 2. 乳歯う蝕 3. 幼若永久歯う蝕 4. 心身に及ぼすう蝕の影響	1. 疫学的観察法について説明できる。 2. 乳歯う蝕の年次推移の特徴について説明できる。 3. 幼若永久歯う蝕の年次推移の特徴について説明できる。 4. 乳歯う蝕の特徴、好発部位および罹患型分類について説明できる。 5. 特異的な乳歯う蝕について説明できる。 6. 幼若永久歯う蝕の特徴と好発部位について説明できる。 7. う蝕の局所的、全身的為害作用について説明できる。 8. 歯性病巣感染について説明できる。	八丁
12	6/26	小児のう蝕予防 2	う蝕予防と進行抑制	1. 小児の歯口清掃法について説明できる。 2. う蝕予防、進行抑制法の分類について説明できる。 3. う蝕予防のための食事、間食指導について説明できる。 4. 予防填塞法について説明できる。	八丁
13	7/3	小児のう蝕予防 3	う蝕予防と進行抑制	う蝕予防における薬物応用について説明できる。	八丁
14	7/10	リコールならびに患者管理	定期健診	歯科定期健診の重要性について説明できる。	八丁
15	7/17	心身障害児の歯科診療補助	小児疾患と歯科診療	歯科治療上問題となる遺伝性疾患、染色体異常、感染症、ビタミン欠乏症、内分泌異常、血液・造血器疾患、代謝異常、腎疾患、循環器疾患、呼吸器疾患、免疫性疾患について説明できる。	八丁

科目名			担当教員			
障害者歯科学			八丁 裕次			
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目	
2	前期	1	30	講義	○	
授業の目的 (GIO)		スペシャルニーズのある人へ歯科保健と歯科医療を提供するための態度を習得する。				
教科書		歯科衛生学シリーズ「障害者歯科学」(医歯薬出版)				
成績評価		定期試験の結果および授業への出席、意欲、関心を評価する。				
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：八丁 裕次				
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、スペシャルニーズのある人に歯科保健と歯科医療を提供するための知識を習得させる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標		担当
1	4/10	障害者歯科総論	障害の概念	1. スペシャルニーズおよび障害者の概念を理解する。 2. ICFについて理解する。 3. 障害の受容について理解する。 4. ノーマライゼーションとバリアフリーを理解する。 5. 障害者の社会福祉制度を理解する。		八丁
2	4/17	障害者歯科各論 1	知的能力障害者と歯科医療	1. 知的能力障害について理解する。 2. 知的能力障害者の口腔内の特徴を理解する。		八丁
3	4/24	障害者歯科各論 2	自閉スペクトラム症と歯科医療	1. 自閉スペクトラム症について理解する。 2. 自閉スペクトラム症の口腔内の特徴を理解する。		八丁
4	5/1	障害者歯科各論 3	発達障害と歯科医療	1. 発達障害について理解する。 2. 発達障害者の口腔内の特徴を理解する。		八丁

5	5/8	障害者歯科各論 4	身体障害と歯科医療 1	1. 身体障害について理解する。 2. 身体障害者の口腔内の特徴を理解する。	八丁
6	5/15	障害者歯科各論 5	身体障害と歯科医療 2	1. 身体障害について理解する。 2. 身体障害者の口腔内の特徴を理解する。	八丁
7	5/22	障害者歯科各論 6	精神障害と歯科医療	1. 精神障害について理解する。 2. 精神障害者の口腔内の特徴を理解する。	八丁
8	5/29	障害者歯科各論 7	障害者への行動調整 1	行動調整を理解する。	八丁
9	6/5	障害者歯科各論 8	障害者への行動調整 2	特殊な行動調整について理解する。	八丁
10	6/12	障害者歯科各論 9	障害者への口腔衛生管理	1. 障害者への口腔ケアを理解する。 2. 障害や疾患別の口腔衛生管理を説明できる。	八丁
11	6/19	障害者歯科各論 10	地域での障害者歯科 1	1. 地域医療連携を理解する。 2. 各医療機関での歯科衛生士の役割を理解する。 3. 地域でのかかりつけ歯科医の有利性を理解する。	八丁
12	6/26	障害者歯科各論 11	地域での障害者歯科 2	1. 地域医療連携を理解する。 2. 各医療機関での歯科衛生士の役割を理解する。 3. 地域でのかかりつけ歯科医の有利性を理解する。	八丁
13	7/3	障害者歯科各論 12	障害者への歯科保健指導	1 障害者への歯科保健指導について理解する。	八丁
14	7/10	障害者歯科各論 13	障害者への歯科保健指導 2	障害者への歯科保健指導について理解する。	八丁
15	7/17	まとめ	まとめ	今までの講義を復習する。	八丁

科目名			担当教員		
歯科矯正学			八丁 裕次		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	後期	1	30	講義	○
授業の目的 (GIO)		矯正歯科治療の目的と意義を説明できる。 正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。 不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。 矯正装置の種類と用途を説明できる。 矯正歯科治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 矯正歯科治療に必要な力学を説明でき、矯正歯科治療によって起こる生体の反応を説明できる。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「歯科矯正学」(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験の結果および授業への出席、意欲、関心を評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：八丁 裕次			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、矯正歯科治療の目的・意義を理解するために、不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法等について講義する。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	12/4	歯科矯正学概論	矯正歯科治療の目標 矯正歯科治療の概要	1. 矯正歯科治療の目標を理解する。 2. 矯正歯科治療の概要を説明できる。	八丁
2	12/4	成長・発育	頭蓋・顎顔面の成長発育 歯・歯列の成長発育	頭蓋・顎顔面の成長発育について理解する。	八丁
3	12/11	正常咬合	正常咬合	1. 正常咬合を理解する。 2. 垂直被蓋、水平被蓋を理解する。	八丁
4	12/11	不正咬合①	不正咬合の分類	1. 不正咬合の分類を説明できる。 2. 個々の歯の位置異常を説明できる。	八丁
5	12/18	不正咬合②	不正咬合の原因 不正咬合の予防	1. 不正咬合の原因を説明できる。 2. 不正咬合の予防を説明できる。	八丁
6	12/18	歯科矯正診断	診断に必要な資料 症例分析	1. 診断に必要な資料を理解する。 2. 症例分析を理解する。	八丁
7	1/15	歯の移動	歯の移動と固定 歯の移動と組織反応	1. 歯の移動と固定を理解する。 2. 歯の移動に伴う組織反応を説明できる。	八丁
8	1/15	矯正力	矯正力と顎整形力 保定	1. 矯正力と顎整形力について説明できる。 2. 保定について学ぶ。	八丁
9	1/22	矯正装置①	可撤式矯正装置、固定式矯正装置、 機能的矯正装置	可撤式矯正装置、固定式矯正装置、機能的矯正装置を説明できる。	八丁
10	1/22	矯正装置②	顎外固定装置、顎内固定装置、 保定装置、その他の装置	顎外固定装置、顎内固定装置、保定装置、その他の装置を説明できる。	八丁
11	1/29	矯正器材	矯正歯科治療に用いる器材 ブライヤーの種類	矯正歯科治療に用いる器材、ブライヤーの種類を覚え、 使い方を理解する。	八丁
12	1/29	口腔保健管理	口腔保健管理 口腔筋機能訓練法	1. 口腔保健管理を習得する。 2. 口腔筋機能訓練法について説明できる。	八丁
13	2/5	矯正歯科治療①	成長期の矯正歯科治療	永久歯列期の矯正歯科治療 治療の流れと症例に応じた装置を説明できる。	八丁
14	2/5	矯正歯科治療②	症例別治療の実際	治療の流れと症例に応じた装置を説明できる。	八丁
15	2/12	総復習	演習問題による総復習	歯科矯正学を復習し、理解する。	八丁

科目名			担当教員		
最新歯科技術総論			八丁 裕次		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	2	60	実習	○
授業の目的 (GIO)		口腔疾患予防に対応した口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、専門的処置を行うための基礎項目を習得する。			
教科書		無し			
成績評価		定期試験の結果および授業への出席、意欲、関心を評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：八丁 裕次			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として勤務した経験を活かし、歯科医療現場で即戦力となるよう最新の歯科技術に関する知識と技術の習得を目指す。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/7	総論①	歯科技術の変遷	・歯科技術の変遷について説明できる。	八丁
2	4/7				
3	4/14	総論②	最新の歯科技術	・各論に進むために最新の歯科技術各論の概要が理解できる。	八丁
4	4/14				八丁
5	4/21	光学印象 (講義)	光学印象とは	・光学印象の仕組みについて説明できる。 ・従来の印象と光学印象の違いが説明できる。	八丁
6	4/21	光学印象 (実習)	光学印象実習①	・光学印象の手順を説明できる。 ・光学印象を行う際の留意点を説明できる。	八丁
7	4/28	光学印象 (実習)	光学印象実習②	・光学印象の手順を説明できる。 ・光学印象を行う際の留意点を説明できる。	八丁
8	4/28	光学印象 (実習)	光学印象実習③	・光学印象の手順を説明できる。 ・光学印象を行う際の留意点を説明できる。	八丁
9	5/12	ホワイトニング (講義)	ホワイトニングとは	・ホワイトニングの仕組みについて説明できる。 ・ホワイトニングの歴史が説明できる。	八丁
10	5/12				八丁
11	5/19	ホワイトニング (実習)	ホワイトニング実習①	・ホワイトニングの手順を説明できる。 ・ホワイトニングを行う際の留意点を説明できる。	八丁
12	5/19				八丁
13	5/26	歯科麻酔 (講義)	歯科麻酔とは	・歯科麻酔の仕組みについて説明できる。 ・歯科麻酔の歴史が説明できる。	八丁
14	5/26				八丁
15	6/2	歯科麻酔 (実習)	歯科麻酔実習①	・方法別の歯科麻酔の手順を説明できる。 ・歯科麻酔を行う際の留意点を説明できる。	八丁
16	6/2				八丁
17	6/9	エアフロー (講義)	エアフローとは	・エアフローの仕組みについて説明できる。 ・一般のスクーリングとエアフローの違いが説明できる。	八丁
18	6/9				八丁
19	6/16	エアフロー (実習)	エアフロー実習①	・エアフローの手順を説明できる。 ・エアフローを行う際の留意点を説明できる。	八丁
20	6/16				八丁
21	6/23	エアフロー (実習)	エアフロー実習②	・エアフローの手順を説明できる。 ・エアフローを行う際の留意点を説明できる。	八丁
22	6/23				八丁
23	7/7	エアフロー (実習)	エアフロー実習③	・エアフローの手順を説明できる。 ・エアフローを行う際の留意点を説明できる。	八丁
24	7/7				八丁
25	7/14	まとめ	まとめ	・本科目の要点を整理できる	八丁
26	7/14				八丁
27	7/28				八丁
28	7/28				八丁

科目名			担当教員		
歯科経営学			八丁 裕次		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	1	30	講義	○
授業の目的 (GIO)		口腔疾患予防に対応した口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、専門的処置を行うための基礎項目を習得する。			
教科書		無し			
成績評価		定期試験の結果および授業への出席、意欲、関心を評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：八丁 裕次			
実務経験を踏まえた授業の内容		法人の代表者を務める歯科医師が歯科医院の経営に関する事項を教育する。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/8	経営学の必要性	歯科衛生士が経営学を学ぶ必要性	・経営学の必要性が説明できる。 ・歯科衛生士における経営学の必要性が説明できる。	八丁
2	4/15	経営学の歴史	日本の経営学の歴史 世界の経営学の歴史	・日本の経営学の歴史を説明できる。 ・世界の経営学の歴史を説明できる。	八丁
3	4/22	経営学の基本①	経営学の基礎①	・経営学の基礎を理解できる。	八丁

4	5/13	経営学の基本②	経営学の基礎②	・経営学の基礎を説明できる。	八丁
5	5/20	経営に関する心理学	経営に関する心理学	・経営に関する心理学の種類を説明できる。 ・分析結果と心理的傾向の関連性を説明できる。	八丁
6	5/27	経営革新とは	経営革新とは	・経営革新の要素を説明できる。	八丁
7	6/3	経営戦略とは	経営戦略とは	・経営戦略の要素を説明できる。	八丁
8	6/10	マーケティング	マーケティング	・マーケティングの要素を説明できる。	八丁
9	6/17	経営者に必要な視点	経営者に必要な視点	・経営者と従業員の社会的な違いを説明できる。 ・経営者に必要な視点を説明できる。	八丁
10	6/24	経営と会計	経営と会計	・経営と会計の関係を説明できる。	八丁
11	7/1	組織のマネジメント	組織のマネジメント	・組織のマネジメントの必要性を説明できる。	八丁
12	7/8	歯科における経営学	歯科における経営学	・今まで学習した内容を踏まえて、歯科における経営の特徴を説明できる。	八丁
13	7/15	歯科衛生士による経営①	歯科衛生士による経営①	・歯科衛生士による経営がイメージできる。	八丁
14	7/22	歯科衛生士による経営②	歯科衛生士による経営②	・歯科衛生士による経営プランを立案できる。	八丁
15	7/29	まとめ	まとめ	・本科目の要点を整理できる。	八丁

科目名			担当教員		
歯科用機器の仕組みと取り扱い			八丁 裕次		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	1	15	演習	○
授業の目的 (GIO)	口腔疾患予防に対応した口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、専門的処置を行うための基礎項目を習得する。				
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科機器」(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験・実技試験の結果を評価する。				
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師・八丁 裕次				
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として勤務した経験を活かし、歯科医療現場で使用する機器の仕組みと取り扱いの仕方について習得させる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/9	一般診療用機器	歯科用ユニット 周辺機器	・歯科用ユニットの種類と違いを説明できる。 ・歯科用ユニットの構造と機能を説明できる。 ・歯科用ユニットの周辺機器の種類と特徴を説明できる。	八丁
2	4/16		滅菌・消毒用機器 歯科用画像診断装置	・滅菌・消毒用機器の種類と特徴を説明できる。 ・滅菌・消毒用機器の使い分けの場面を説明できる。 ・歯科用画像診断装置の種類を説明できる。	八丁
3	4/23	歯科衛生にかかわる機器	口腔清掃用機器	・口腔清掃用の機器の種類と特徴を説明できる。 ・口腔清掃用機器の使い分けの場面を説明できる。	八丁
4	4/30	検査・診断・治療用機器	全身管理機器 麻酔用機器 救急救命機器 歯及び口腔、口腔機能検査機器	・全身管理用機器の種類と特徴を説明できる。 ・麻酔用機器の種類と特徴を説明できる。 ・救急救命機器の種類と特徴を説明できる。 ・歯及び口腔、口腔機能検査機器の種類と特徴を説明できる。	八丁
5	5/7		切削用機器 成形修復用機器	・切削用機器の種類と特徴を説明できる。 ・成形修復用機器の種類と特徴を説明できる。	八丁
6	5/21		歯内療法用機器 歯周治療用機器 印象採得用機器 歯冠修復用機器	・歯内療法用機器の種類と特徴を説明できる。 ・歯周治療用機器の種類と特徴を説明できる。 ・印象採得用機器の種類と特徴を説明できる。 ・歯冠修復用機器の種類と特徴を説明できる。	八丁
7	5/28		有床義歯用機器 口腔外科用機器	・有床義歯用機器の種類と特徴を説明できる。 ・口腔外科用機器の種類と特徴を説明できる。	八丁
8	6/5		矯正歯科用機器 小児歯科用機器 インプラント関係機器(導入) 歯科訪問診療用機器(導入)	・小児歯科用機器の種類と特徴を説明できる。 ・インプラント関係機器の種類と特徴を説明できる。 ・歯科訪問診療用機器の種類と特徴を説明できる。	八丁

科目名			担当教員		
歯科保存修復学			八丁 裕次		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	1	30	講義	○
授業の目的 (GIO)	歯の硬組織、歯髄および根尖歯周組織などの疾患に対する予防と治療について学ぶ。				
教科書	歯科衛生学シリーズ「保存修復学・歯内療法学」(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験の結果および授業への出席、意欲、関心を評価する。				
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師：手塚 誠				

実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、保存修復学・歯内療法学の意義、手技等を理解させ、歯科医師と協力して適切でより良い医療を患者に提供できるように講義する。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	10/6	保存修復学総論①	保存修復学の概要、歯の硬組織疾患	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保存修復の目的を説明できる。 2. 保存修復における歯科衛生士の役割を説明できる。 3. 歯の硬組織疾患を分類し、それぞれを説明できる。 4. う蝕の病因と病態を説明できる。 5. う蝕のリスクファクターを列挙できる。 6. エナメル質う蝕と根面う蝕の特徴と治療法を説明できる。 	八丁
2	10/20	保存修復学総論②	非う蝕性硬組織疾患、口腔検査法、検査用器具と手技	<ol style="list-style-type: none"> 1. 非う蝕性の硬組織疾患を分類し、それぞれを説明できる。 2. 非う蝕性硬組織疾患の病因と病態を説明できる。 3. 診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。 4. 各種検査法の特徴と適応を説明できる。 5. 歯式の表現法を列挙し説明できる。 	八丁
3	10/27	保存修復学総論③	歯の切削、窩洞	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯の切削とう蝕除去に必要な器材を列挙し、用途と使用方法を説明できる。 2. 窩洞を分類し、説明できる。 3. 窩洞の各部位の名称を説明できる。 4. 窩洞形態に関する一般原則を列挙できる。 	八丁
4	11/10	保存修復学総論④	修復の前準備、象牙質・歯髄の保護	<ol style="list-style-type: none"> 1. 修復の前準備を列挙し、概要を説明できる。 2. 術野隔離法の手順と機材材料の使用法を説明できる。 3. 歯肉排除法に使用する機材材料を列挙し、使用方法を説明できる。 4. 歯間分離法に使用する機材材料を列挙し、使用方法を説明できる。 5. 隔壁法に使用する機材材料を列挙し、使用方法を説明できる。 6. 象牙質・歯髄複合体の保護法を列挙し、説明できる。 	八丁
5	11/17	保存修復学各論①	ミニマル・インターベンション、コンポジットレジン修復①	<ol style="list-style-type: none"> 1. ミニマル・インターベンションを説明できる。 2. コンポジットレジン修復の特徴を列挙し、説明できる。 3. コンポジットレジン修復の適応症と禁忌症を列挙できる。 4. コンポジットレジン修復の手順と器材材料の使用法を説明できる。 	八丁
6	12/1	保存修復学各論②	コンポジットレジン修復②、ガラスアイオノマーセメント修復	<ol style="list-style-type: none"> 1. レジン接着システムについて説明できる。 2. 歯質との接着機構を説明できる。 3. ガラスアイオノマー修復の特徴を列挙し、説明できる。 4. ガラスアイオノマー修復の適応症と禁忌症を列挙できる。 5. ガラスアイオノマー修復の手順と器材材料の使用法を説明できる。 	八丁
7	12/8	保存修復学各論③	メタルインレー修復、合着と仕上げ・研磨	<ol style="list-style-type: none"> 1. メタルインレー修復の特徴を列挙し、説明できる。 2. メタルインレー修復の適応症と禁忌症を列挙できる。 3. メタルインレー修復の手順と器材材料の使用法を説明できる。 4. メタルインレーの製法を説明できる。 5. 合着・接着材料の種類を列挙できる。 6. 合着・接着材料の組成と特徴を説明できる。 7. 間接修復物の合着・接着の手順と注意点を説明できる。 8. 仕上げと研磨の意義と目的を説明できる。 9. 仕上げ・研磨それぞれに用いる器具を列挙できる。 	八丁
8	12/15	保存修復学各論④	セラミックインレー修復、コンポジットレジンインレー修復	<ol style="list-style-type: none"> 1. セラミックインレー修復の特徴を列挙し、説明できる。 2. セラミックインレー修復の適応症と禁忌症を列挙できる。 3. セラミックインレー修復の手順と器材材料の使用法を説明できる。 4. セラミックインレーの製法とそれぞれの特徴を説明できる。 5. コンポジットレジンインレー修復の特徴を列挙し、説明できる。 6. コンポジットレジンインレー修復の適応症と禁忌症を列挙できる。 7. コンポジットレジンインレー修復の手順と器材材料の使用法を説明できる。 8. コンポジットレジンインレーの製法を説明できる。 	八丁
9	12/22	歯内療法学総論	歯内療法の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯髄疾患の種類、特徴、診査法、治療法、病理、臨床症状について説明できる。 2. 根尖性歯周炎の種類、特徴、診査法、治療法、病理、臨床症状について説明できる。 	八丁
10	1/19	歯内治療における検査、歯髄保存療法	歯内治療における検査、歯髄保存療法の種類と特徴	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯内治療における検査の種類、特徴について説明できる。 2. 歯髄保存療法の種類、特徴について説明できる。 	八丁
11	1/26	歯髄除去療法	歯髄除去療法の種類と特徴	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯髄除去療法の種類、特徴について説明できる。 	八丁

12	2/2	根管治療、 根管充填 1	根管治療と根管充填の 時期の判定	1. 根管治療の術式、根管充填の時期の判定について説明 できる。	八丁
13	2/9	外科的歯内療法	外科的歯内療法の分類 と術式 歯科用実体顕微鏡の特 徴	1. 外科的歯内療法の目的、適応症と術式を説明できる。 2. 歯科用実体顕微鏡の特徴について説明できる	八丁
14	2/16	根管充填 2 歯の外傷、 根未完成歯の処置	根管充填の術式と種類 歯の外傷の処置 根未完成歯の処置	1. 根管充填の術式、種類、処置について説明できる。 2. 歯の外傷の処置について説明できる。 3. 根未完成歯の処置について説明できる。	八丁
15	2/16 ※3限	歯内療法における安 全対策	偶発事故の種類と事故	1. 偶発事故の種類と処置について説明できる。	八丁

科目名			担当教員		
歯内療法学			八丁 裕次		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある 教員による授業科目
1	後期	1	30	講義	○
授業の目的 (GIO)		歯の硬組織、歯髄および根尖歯周組織などの疾患に対する予防と治療について学ぶ。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「保存修復学・歯内療法学」(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験の結果および授業への出席、意欲、関心を評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科医師：手塚 誠			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、保存修復学・歯内療法学の意義、手技等を理解させ、歯科医 師と協力して適切でより良い医療を患者に提供できるように講義する。			

回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	10/7	保存修復学総論①	保存修復学の概要, 歯の硬組織疾患	1. 保存修復の目的を説明できる。 2. 保存修復における歯科衛生士の役割を説明できる。 3. 歯の硬組織疾患を分類し、それぞれを説明できる。 4. う蝕の病因と病態を説明できる。 5. う蝕のリスクファクターを挙挙できる。 6. エナメル質う蝕と根面う蝕の特徴と治療法を説明でき る。	八丁
2	10/14	保存修復学総論②	非う蝕性硬組織疾患, 口腔検査法, 検査用器具と手技	1. 非う蝕性の硬組織疾患を分類し、それぞれを説明でき る。 2. 非う蝕性硬組織疾患の病因と病態を説明できる。 3. 診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明でき る。 4. 各種検査法の特徴と適応を説明できる。 5. 歯式の表現法を列挙し説明できる。	八丁
3	10/21	保存修復学総論③	歯の切削, 窩洞	1. 歯の切削とう蝕除去に必要な器材を列挙し、用途と使用 方法を説明できる。 2. 窩洞を分類し、説明できる。 3. 窩洞の各部位の名称を説明できる。 4. 窩洞形態に関する一般原則を列挙できる。	八丁
4	10/28	保存修復学総論④	修復の前準備 象牙質・歯髄の保護	1. 修復の前準備を列挙し、概要を説明できる。 2. 術野隔離法の手順と機材材料の使用法を説明できる。 3. 歯肉排除法に使用する機材材料を列挙し、使用法を 説明できる。 4. 歯間分離法に使用する機材材料を列挙し、使用法を 説明できる。 5. 隔壁法に使用する機材材料を列挙し、使用法を説明 できる。 6. 象牙質・歯髄複合体の保護法を列挙し、説明できる。	八丁
5	11/4	保存修復学各論①	ミニマル・インターベンション コンポジットレジン修復①	1. ミニマル・インターベンションを説明できる。 2. コンポジットレジン修復の特徴を列挙し、説明でき る。 3. コンポジットレジン修復の適応症と禁忌症を列挙でき る。 4. コンポジットレジン修復の手順と器材材料の使用法 を説明できる。	八丁
6	11/11	保存修復学各論②	コンポジットレジン修復② グラスアイオノマーセメント修復	1. レジン接着システムについて説明できる。 2. 歯質との接着機構を説明できる。 3. グラスアイオノマー修復の特徴を列挙し、説明でき る。 4. グラスアイオノマー修復の適応症と禁忌症を列挙でき る。 5. グラスアイオノマー修復の手順と器材材料の使用法 を説明できる。	八丁

7	11/18	保存修復学各論③	メタルインレー修復 合着と仕上げ・研磨	1. メタルインレー修復の特徴を列挙し、説明できる。 2. メタルインレー修復の適応症と禁忌症を列挙できる。 3. メタルインレー修復の手順と器材材料の使用方法を説明できる。 4. メタルインレーの製法を説明できる。 5. 合着・接着材料の種類を列挙できる。 6. 合着・接着材料の組成と特徴を説明できる。 7. 間接修復物の合着・接着の手順と注意点を説明できる。 8. 仕上げと研磨の意義と目的を説明できる。 9. 仕上げ・研磨それぞれに用いる器具を列挙できる。	八丁
8	11/25	保存修復学各論④	セラミックインレー修復, コンポジットレジンインレー修復	1. セラミックインレー修復の特徴を列挙し、説明できる。 2. セラミックインレー修復の適応症と禁忌症を列挙できる。 3. セラミックインレー修復の手順と器材材料の使用方法を説明できる。 4. セラミックインレーの製法とそれぞれの特徴を説明できる。 5. コンポジットレジンインレー修復の特徴を列挙し、説明できる。 6. コンポジットレジンインレー修復の適応症と禁忌症を列挙できる。 7. コンポジットレジンインレー修復の手順と器材材料の使用方法を説明できる。 8. コンポジットレジンインレーの製法を説明できる。	八丁
9	12/2	歯内療法学総論	歯内療法の概要	1. 歯髄疾患の種類、特徴、診査法、治療法、病理、臨床症状について説明できる。 2. 根尖性歯周炎の種類、特徴、診査法、治療法、病理、臨床症状について説明できる。	八丁
10	12/9	歯内治療における検査、歯髄保存療法	歯内治療における検査 歯髄保存療法の種類と特徴	1. 歯内治療における検査の種類、特徴について説明できる。 2. 歯髄保存療法の種類、特徴について説明できる。	八丁
11	12/16	歯髄除去療法	歯髄除去療法の種類と特徴	1. 歯髄除去療法の種類、特徴について説明できる。	八丁
12	1/13	根管治療、 根管充填 1	根管治療と根管充填の 時期の判定	1. 根管治療の術式、根管充填の時期の判定について説明できる。	八丁
13	1/20	外科的歯内療法	外科的歯内療法の分類と術式 歯科用実体顕微鏡の特徴	1. 外科的歯内療法の目的、適応症と術式を説明できる。 2. 歯科用実体顕微鏡の特徴について説明できる。	八丁
14	1/27	根管充填 2 歯の外傷、 根未完成歯の処置	根管充填の術式と種類 歯の外傷の処置 根未完成歯の処置	1. 根管充填の術式、種類、処置について説明できる。 2. 歯の外傷の処置について説明できる。 3. 根未完成歯の処置について説明できる。	八丁
15	2/3	歯内療法における安全対策	偶発事故の種類と事故	1. 偶発事故の種類と処置について説明できる。	八丁

科目名			担当教員		
歯周療法学			八丁 裕次		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある 教員による授業科目
1	後期	1	30	講義	○
授業の目的 (GIO)	我が国では超高齢社会に入り、8020 運動の達成者の割合は 50% をこえているが、歯を失う原因疾患のトップは いまだ歯周病であり、成人の多くが罹患している。「歯周療法学」では歯周疾患の概要や歯科衛生業務を行うた めに必要な知識の習得を目的とする。				
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯周病学」(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験の結果および授業への出席、意欲、関心を評価する。				
実務経験のある教員 及び実務経験職種	歯科医師：八丁 裕次				
実務経験を踏まえた 授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯周疾患の概要や歯科衛生業務を行うために必要な基礎的 理論について講義する。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	10/7	歯周疾患と歯周療法学	1. 歯周疾患と歯周療法学 2. 歯周病の機序と症状 3. 歯周組織の炎症所見	1. 歯周病の疾患としての特徴について説明できる。 2. 歯周病の機序と症状について説明できる。 3. 歯周組織の炎症所見を説明できる。	八丁
2	10/14	歯周疾患の病因①	1. 他因子疾患としての歯周病 2. 細菌因子 3. 宿主因子	1. 歯周病の病因を列挙し、他因子疾患としての歯周病に ついて説明できる。 2. デンタルプラークの性状と形成機序について説明でき る。 3. 口腔バイオフィルムの成因、病原性について説明でき る。 4. 歯周病に関連する細菌を列挙し、病原性について説明 できる。 5. ディスバイオーシスと歯周病発症の関連について説明 できる。	八丁
3	10/21	歯周疾患の病因②	1. 宿主因子 2. 環境因子	1. 歯周疾患の宿主因子について説明できる。 2. 歯周疾患の環境因子について説明できる。	八丁

4	10/28	歯周組織検査①	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接 2. 口腔内エックス線写真検査 3. 口腔内写真検査 4. エックス線写真検査による歯槽骨吸収と程度 5. 習癖の検査 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接について説明できる。 2. 口腔内エックス線写真検査について説明できる。 3. 口腔内写真検査について説明できる。 4. エックス線写真検査について説明できる。 5. 習癖の検査について説明できる。 	八丁
5	11/4	歯周組織検査②	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロービングデプス 2. 臨床的アタッチメントレベル 3. 根分岐部病変 4. 角化歯肉、付着歯肉 5. 歯肉炎症の程度 (BOP, 排膿) 6. 歯の動揺度の検査 7. 咬合の検査 8. 食片圧入 9. ブラーク 10. 修復物, 補綴物の適否 11. 歯周チャート 12. 歯槽骨吸収 13. 研究用模型 	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロービングデプスについて説明できる。 2. 臨床的アタッチメントレベルについて説明できる。 3. 根分岐部病変について説明できる。 4. 角化歯肉、付着歯肉について説明できる。 5. 歯肉炎症の程度 (BOP, 排膿) について説明できる。 6. 歯の動揺度の検査について説明できる。 7. 咬合の検査について説明できる。 8. 食片圧入について説明できる。 9. ブラークについて説明できる。 10. 修復物, 補綴物の適否について説明できる。 11. 歯周チャートについて説明できる。 12. 歯槽骨吸収について説明できる。 13. 研究用模型について説明できる。 	八丁
6	11/11	歯周疾患の分類と特徴	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本歯周病学会分類(2006) 2. 歯周病の新分類(2017) 3. インプラント周囲疾患 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周疾患の分類について説明できる。 2. 歯周病の新分類について, 説明できる。 3. インプラント周囲疾患について説明できる。 	八丁
7	11/18	歯周治療の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周治療の流れ 2. 治療計画の立案 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周治療の流れについて説明できる。 2. 歯周治療の内容を説明できる。 3. 治療計画の立案について説明できる。 	八丁
8	11/25	歯周基本治療①	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周基本治療の意義と目的 2. 患者教育とモチベーション 3. ブラークコントロール 4. ブラークコントロールの目的、意義 5. 各種ブラッシング法 6. 薬物療法 7. 局所薬物配送システム (LDDS) 8. Full mouth disinfection (FMD) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周基本治療の内容を列挙できる。 2. 患者教育とモチベーション (動機付け) について説明できる。 3. ブラークコントロールの方法について説明できる。 4. ブラークコントロールの目的、意義 機械的、化学的 ブラークコントロールを説明できる。 5. 各種ブラッシング法について説明できる。 6. 局所薬物配送システム (LDDS) について説明できる。 7. Full mouth disinfection (FMD) について説明できる。 	八丁
9	12/2	歯周基本治療②	<ol style="list-style-type: none"> 1. スケーリング・ルートプレーニングの意義と目的 2. スケーラーの種類 3. 手用スケーラー 4. 超音波・音波スケーラー 5. スケーリング・ルートプレーニングの方法 6. シャープニングの定義、方法 	<ol style="list-style-type: none"> 1. スケーリング・ルートプレーニングの意義と目的について説明できる。 2. スケーラーの種類について説明できる。 3. 手用スケーラーについて説明できる。 4. 手用スケーラーについて説明できる。 5. 超音波・音波スケーラーについて説明できる。 6. シャープニングの定義、方法について説明できる。 	八丁
10	12/9	歯周基本治療③ 再評価検査	<ol style="list-style-type: none"> 1. 咬合調整 2. 暫間固定 3. 習癖の修正 4. 暫間補綴物の作製 5. 再評価検査の意義と目的 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 咬合調整の方法について説明できる。 2. 暫間固定の方法を列挙できる。 3. 習癖による歯周組織への影響について説明できる。 4. 暫間補綴物の種類について列挙し, 説明できる。 5. 再評価検査について説明できる。 	八丁
11	12/16	歯周外科療法①	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周外科治療の意義と目的 2. 歯周外科治療に用いる器材 3. 歯周外科治療後の治癒形態 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周外科治療に用いる器材の名称と用途を説明できる。 2. 歯周外科治療における歯科衛生士の役割について説明できる。 3. 歯科用レーザーの特徴と用途について説明できる。 4. 歯周外科治療後の治癒形態を説明できる。 	八丁
12	1/13	歯周外科療法②	<p>歯周外科治療</p> <ol style="list-style-type: none"> a 切除療法 b 組織付着療法 c 歯周組織再生療法 (FGF-2, EMD, 骨移植材) d 歯周形成手術 e 根分岐部病変の治療 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周外科治療の種類を列挙し, 説明できる。 2. 歯周外科治療の適応を説明できる。 3. 各歯周外科治療に用いる器材・薬剤の名称と用途を説明できる。 4. 根分岐部病変の治療を列挙し, 説明できる。 	八丁
13	1/20	口腔機能回復療法として、歯周疾患の咬合、補綴、矯正治療	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔機能回復療法の意義と目的 2. 口腔機能回復療法の内容 <ol style="list-style-type: none"> a 咬合治療 b 補綴治療 c 矯正治療 d インプラント治療 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔機能回復療法の内容を列挙し, 説明できる。 2. 口腔機能回復療法後の再評価検査と診断について説明できる。 	八丁
14	1/27	歯周疾患と全身疾患	<ol style="list-style-type: none"> 1. ペリオドンタルメディシン <ol style="list-style-type: none"> a 糖尿病 b 肥満 c 心臓血管疾患 d 早産・低出生体重児 e 誤嚥性肺炎 f 骨粗鬆症 <ol style="list-style-type: none"> 2. 高齢者と歯周治療 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ペリオドンタルメディシンについて説明できる。 2. 高齢者の歯周治療について説明できる。 	八丁

15	2/3	メンテナンス, サポータビリティ, パリオドンタルセラピー (SPT)	1. メンテナンス, SPT の意義と目的 2. メンテナンス, SPT における患者教育とモチベーション 3. メンテナンス, SPT の内容 4. リコールの決定 5. 全身の健康とメンテナンス	1. メンテナンス, SPT について説明できる. 2. メンテナンス, SPT における患者教育とモチベーションについて説明できる. 3. メンテナンス, SPT に対する処置内容を説明できる. 4. リコールについて説明できる. 5. メンテナンス, SPT における歯科衛生士の役割について説明できる.	八丁
----	-----	-------------------------------------	---	--	----

科目名			担当教員		
栄養指導			八丁 裕次		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	1	30	講義	○
授業の目的 (GIO)		口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、保険指導力を身につけていく。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能2 栄養と代謝」(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験の結果および授業への出席、意欲、関心を評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：八丁 裕次			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として勤務した経験を活かし、ライフステージに応じた必要な栄養を選択できるように知識を習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/7	栄養学と歯科衛生士	栄養の概念	栄養学とその意義を説明できる。	八丁
2	4/14	栄養素の種類とはたらき	栄養素の種類と働き	栄養素の種類と働きを説明できる。	八丁
3	4/21	栄養素の種類とはたらき2	栄養素の種類と働き②	栄養素の種類と働きを説明できる。	八丁
4	4/28	栄養素の消化	消化・吸収と栄養について	消化・吸収のメカニズムを説明できる。	八丁
5	5/12	健康と栄養	我が国の食事について	食生活を取り巻く施策を説明できる。	八丁
6	5/19	食事と食品	食事と食品	食生活と健康との関連を説明できる。	八丁
7	5/26	食事と食品	食品の調理と機能	食品の機能を説明できる。	八丁
8	6/2	食事と食品+食塊セミナー	嚥下困難者への配慮と歯科衛生士の対応について	摂食・嚥下機能に合わせた調理の工夫を理解している。	八丁
9	6/9	ライフステージと栄養	妊娠期・授乳期・乳児期における栄養の要点	妊娠期・授乳期・乳児期の特徴を説明できる。	八丁
10	6/16	ライフステージと栄養	幼児期・学童期・思春期における栄養の要点	幼児期・学童期・思春期の特徴を説明できる。	八丁
11	6/23	ライフステージと栄養	成人期・高齢期における栄養の要点	成人期・高齢期の特徴を説明できる。	八丁
12	6/30	栄養ケア・マネジメント	チームアプローチと栄養ケア・マネジメント	栄養ケア・マネジメントの概要と歯科衛生士の関わりを説明できる。	八丁
13	7/7	栄養ケア・マネジメント	栄養アセスメント	栄養アセスメントとその方法を説明できる。	八丁
14	7/14	日本人の食事摂取基準	食べ物と健康	日本人の食事摂取基準を説明できる。	八丁
15	7/28	まとめ	前期試験前の振り返り	国試の傾向を理解しながら重要ポイントを理解できる。	八丁

科目名			担当教員		
歯科衛生士概論			八丁 裕次		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	○
授業の目的 (GIO)		歯科衛生を实践して人びとの健康づくりを支援するために、保健医療人としての基本的態度を理解し、多様な科目において知識・技術を習得する態度および論理的思考法の基礎を習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「歯科衛生学総論」(医歯薬出版)、歯科予防処置論・歯科保健指導論(p88~120)保健行動について			
成績評価		定期試験の結果および授業への出席、意欲、関心を評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：八丁 裕次			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として実務経験のある教員が、歯科衛生士の業務と社会的役割を講義し、それぞれが目指す歯科衛生士像を明確にさせる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/8	歯科衛生学とは	歯科衛生学	1. 歯科衛生士の定義を述べることができる。 2. 歯科衛生業務の構成要素を説明できる。	八丁
2	4/15	歯科衛生の歴史	歯科衛生の誕生と経緯	歯科衛生士の誕生について説明ができる。	八丁
3	4/22	歯科衛生活動のための理論	予防の概念と保険行動	予防の概念と保健指導の理論を説明できる。	八丁
4	5/13	ヒューマンニーズ理論	ヒューマンニーズ理論 マズローの欲求階層理論	8つのヒューマンニーズを理解しマズローの欲求階層理論を覚える。	八丁
5	5/20	歯科衛生過程	歯科衛生過程とは 歯科衛生アセスメントの流れ	soapやsデータ、oデータのそれぞれの違いを理解する。	八丁

6	5/27	歯科衛生過程	上記の実践問題	周りと話し合いながらでいいので身近に内容の理解を深めてもらう。	八丁
7	6/3	歯科衛生士と歯科衛生士法	歯科衛生士の法的業務	歯科衛生士だからできることを理解し分類分けができる。	八丁
8	6/10	歯科衛生士の役割	専門職についてと国試実践	歯科衛生士になるうえで大切な内容なので丁寧に理解してもらおう。	八丁
9	6/17	安全管理	リスクマネジメント	感染の種類と感染予防対策を理解できる。	八丁
10	6/24	倫理の必要性	医の倫理と患者の権利	国試によく出るポイントを抑える。	八丁
11	7/1	歯科衛生士活動の現況	歯科衛生士の動向	現在の歯科衛生士の必要性和状況を理解する。	八丁
12	7/8	歯科衛生活動の場	歯科衛生士の活動	歯科衛生士の社会組織活動を理解し説明ができる。	八丁
13	7/15	海外における歯科衛生士	多職種連携 海外における歯科衛生士	世界における歯科衛生士の現状を説明できる。	八丁
14	7/22	前期試験前の振り返り	前期試験前の要点まとめ	重要ポイントを説明することができる。	八丁
15	7/29	前期試験前の振り返り			八丁

科目名				担当教員	
生物学				八丁 裕次	
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	○
授業の目的 (GIO)		口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、生理学や解剖学がよりつながるように勉強を進めていく。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「生物学」 (医歯薬出版)			
成績評価		定期試験の結果および授業への出席、意欲、関心を評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科医師：八丁 裕次			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科医師として勤務した経験を活かし、解剖学・生理学の基礎となる知識の習得を目指す。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/9	細胞をつくる物質	細胞の機能の基礎を学ぶ	細胞の構造とアミノ酸の種類が説明できる。	八丁
2	4/16	細胞内には細胞小器官がある	構造と役割を学ぶ	それぞれの細胞小器官の役割を理解する。	八丁
3	4/23	細胞の一生	細胞分裂と人の組織を学ぶ	細胞と組織の種類を理解し重要点を抑える。	八丁
4	4/30	人の器官	消化酵素を学ぶ	消化酵素を説明できる。国試を体験させる。	八丁
5	5/7	生殖の方法	生殖の違いと分裂の特徴	生殖の違いを説明できる。	八丁
6	5/14	遺伝と遺伝子	遺伝の法則	遺伝情報と反応について説明ができる。	八丁
7	5/21	発生の過程	発生について	三胚葉から形成される組織と器官を説明する。	八丁
8	5/28	刺激と神経	ホルモンについて学ぶ	神経系の説明ができる。国試を体験してみる。	八丁
9	6/4	内部環境を保つ仕組み	ホルモンと免疫について	生体防御反応について理解と説明ができる。	八丁
10	6/11	動物の行動と進化	本能や行動を知る	動物の行動と進化、パンデミックなどの流行り病を理解	八丁
11	6/18	国試対策①	試験傾向、教科書の振り返り	国試はどのようなものか知ってもらう。	八丁
12	6/25	国試対策②	国試によく出るポイントをおさえながら	国試の傾向を学ぶ。	八丁
13	7/2	振り返りと小テスト	実力試し	最初に少しだけ復習し小テストで力試しをしてもらう。	八丁
14	7/9	解説	苦手確認と問題慣れさせる	小テスト結果発表と解説	八丁
15	7/16	まとめ	前期試験前に確認してほしいことの振り返りと小テスト結果から学生が多くつまづいたところの解説。	前期試験に向けて苦手意識をなくしてもらう。	八丁

科目名			担当教員		
解剖学			手塚 誠		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	○
授業の目的 (GIO)		<p>人体の構造と機能を学び、基礎歯科医学を学ぶ礎を築く。 歯科医学では、ヒトの正常な身体について形態・構造の面から学ぶ解剖学と、機能の面から学ぶ生理学・生化学が最も基礎となる学問である。構造と機能は表裏一体であり、相関しながら学ぶ事により、より効率的に生体のメカニズムを理解できる。 『人体の構造と機能I』では、生体の機能を考えながら、構造に力点を置き、人体について学ぶ。</p>			
教科書		歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能I 解剖学・組織発生学・生理学」(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験・実技試験の結果を評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：手塚 誠			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、解剖学・発生学を講義し、歯科医学を学ぶ基礎を習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/8	人体の構造と機能 —序論—	1. 解剖学とは 2. 人体の構成と区分 3. 体の方向用語	1. 人体の構造と機能、解剖学の関連を説明する。 2. 人体の構成と区分を説明する。 3. 体の方向用語を説明する。	手塚
2	4/15	骨格系	1. 骨の構造と機能 2. 人体を構成する骨	1. 骨の構造と機能を説明する。 2. 頭蓋、体幹、上肢・下肢を構成する骨を説明する。	手塚
3	4/22	筋と運動	1. 筋の構造と機能 2. 全身の筋	1. 骨格筋の形態、骨との付着、起始・停止を説明する。 2. 全身に分布する骨格筋の名称と機能を説明する。	手塚
4	5/13	消化・吸収	1. 消化・吸収とは 2. 消化器の構造と機能	消化器系を構成する器官の名称、構造と機能を説明する。	手塚
5	5/20	循環	1. 脈管系の概要 2. 血管の構造と機能 3. 心臓の構造と機能 4. 動・静脈の構造と機能 5. リンパ系の概要	脈管系(心臓、動脈系、静脈系、リンパ系)の構造と機能を説明する。	手塚
6	5/27	神経系(中枢神経)	1. 神経系の概要 2. 中枢神経系 3. 末梢神経系	1. 神経の分類と機能を説明する。 2. 中枢神経(脳・脊髄)の構造と分布を説明する。 3. 末梢神経の構造と分布を説明する。	手塚
7	6/3	呼吸(末梢神経)	1. 呼吸とは 2. 呼吸器系の構造と機能 3. 感覚器系の構造と機能	1. 呼吸器系を構成する器官の名称、構造と機能を説明する。 2. 感覚器系(外皮、視覚器、平衡聴覚器、味覚器、嗅覚器)の名称と構造を説明する。	手塚
8	6/10	排泄 内分泌(呼吸系)	1. 泌尿器系の構造と機能 2. 内分泌とは 3. 内分泌系の構造と機能	1. 泌尿器系を構成する器官の名称、構造と機能を説明する。 2. 内分泌系器官の名称と構造を説明する。 3. ホルモンの作用を説明する。	手塚
9	6/17	細胞の構造と機能(感覚器系)	1. 細胞とは 2. 細胞の構造と機能 3. 細胞の一生	1. 細胞の基本構造と機能を説明する。 2. 細胞の一生(増殖、分化、死)について説明する。	手塚
10	6/24	組織の構造と機能 I(排泄(泌尿器系))	1. 組織とは 2. 上皮組織	1. 細胞、組織、器官の階層を説明する。 2. 上皮組織の構造と特徴を説明する。	手塚
11	7/1	組織の構造と機能 II	1. 支持組織の概要 2. 結合組織の構造 3. 軟骨組織の構造 4. 骨組織の構造 5. 血液の構成	1. 支持組織の特徴を説明する。 2. 結合組織、軟骨組織、骨組織、血液の構造と特徴を説明する。	手塚
12	7/8	組織の構造と機能 III	1. 筋組織の構造 2. 神経組織の構造	1. 筋組織の構造と特徴を説明する。 2. 神経組織の構造と特徴を説明する。	手塚
13	7/15	生殖 個体発生I	1. 個体発生の概要 2. 染色体と減数分裂 3. 生殖系器官の構造と機能 4. 受精と着床	1. ヒトの個体発生の概要を説明する。 2. 染色体と減数分裂について説明する。 3. 生殖系器官の構造・機能を説明する。 4. 受精と着床を説明する。	手塚
14	7/22	個体発生II	1. 三胚葉の発生 2. 胚葉と器官形成	1. 三胚葉発生の概要を説明する。 2. 三胚葉と器官系の関連を説明する。	手塚
15	7/29	人体の構造と機能 —総括—	人体の構造と機能のまとめ	人体の構造と機能を復習、総括する。	手塚
科目名			担当教員		
組織・発生学			手塚 誠		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目

1	前期	2	30	講義	○
授業の目的 (GIO)	歯科医療に従事するものとして、歯科医学の基礎として、歯と口腔の構造と機能を学ぶ。歯と口腔の組織構造と機能について理解する				
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1解剖学・組織発生学・生理学」(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験・実技試験の結果を評価する。				
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師：手塚 誠				
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、組織・組織学を講義し、歯科医学の基礎を習得させる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/9	頭頸部と顔面の筋	舌骨上筋と舌骨下筋 表情筋の起始と停止、作用	1. 頸部の筋と前頭三角を説明する。 2. 表情筋の起始と停止、作用を説明する。	手塚
2	4/16	口腔付近に分布する動脈	口腔付近に分布する動脈	頭頸部と顎顔面部に分布する動脈を説明する。	手塚
3	4/23	静脈とリンパ	口腔付近に分布する静脈とリンパ	口腔付近に分布する静脈とリンパを説明する。	手塚
4	4/30	神経1	末梢神経と自律神経	末梢神経と自律神経の構成と機能を説明する。	手塚
5	5/7	神経2	三叉神経、顔面神経	三叉神経と顔面神経の構成と機能を説明する。	手塚
6	5/14	神経3	舌咽神経、迷走神経、舌下神経	舌咽神経、迷走神経、舌下神経の構成と機能を説明する。	手塚
7	5/21	歯と口腔の組織・序論 エナメル質	歯と口腔を構成する組織の概要 エナメル質の組織構造と機能	1. 歯と口腔を構成する組織の概要を説明する。 2. エナメル質の組織構造と機能の特徴を説明する。	手塚
8	5/28	象牙質	象牙質の組織構造と機能	象牙質の組織構造と機能の特徴を説明する。	手塚
9	6/4	歯髄 セメント質	歯髄の組織構造と機能 セメント質の組織構造と機能	1. セメント質の組織構造と機能の特徴を説明する。 2. 歯髄の組織構造と機能の特徴を説明する。	手塚
10	6/11	歯根膜 歯槽骨	歯根膜の組織構造と機能 歯槽骨の組織構造と機能	1. 歯根膜の組織構造と機能の特徴を説明する。 2. 歯槽骨の組織構造と機能の特徴を説明する。	手塚
11	6/18	歯肉 口腔粘膜	歯肉の区分と組織構造 口腔粘膜の組織構造と機能	1. 歯肉の区分と組織構造の特徴を説明する。 2. 口腔粘膜の組織構造と機能の特徴を説明する。	手塚
12	6/25	口腔組織発生1	鰓弓、顔面と口蓋の形成	鰓弓および顔面と口蓋形成の概要を説明する。	手塚
13	7/2	口腔組織発生2	歯の発生	1. 歯の発生の概要を説明する。 2. 歯周組織の発生の概要を説明する。	手塚
14	7/9	歯と口腔の組織1	歯の組織構造	歯の組織構造について、説明する。	手塚
15	7/16	歯と口腔の組織2	歯周組織の組織構造	1. 歯周組織の組織構造について、説明する。 2. 歯と口腔の組織について総括する。	手塚
科目名			担当教員		
生化学			手塚 誠		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	1	15	講義	○
授業の目的 (GIO)	1. 生命現象を化学反応という視点から分析する。 2. 栄養素と生命現象の関わりを理解する。 3. 人体の正常な機能と機序を理解することにより、疾患の原因や治療について正しく理解できるようにする。				
教科書	歯科衛生学シリーズ「生化学・口腔生化学」(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験・実技試験の結果を評価する。				
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師：手塚 誠				
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、生化学を講義し、歯科医学を学ぶ基礎を習得させる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	10/7	生化学と代謝	1. 生化学と分子 2. 物質代謝の基礎	1. 分子の概念と生体の主要な原子を説明できる。 2. 生化学的な生命現象の捉え方を説明できる。	手塚
2	10/14	イオン、pH、酵素	1. 水、イオン、pHと緩衝液 2. 酵素の特徴	1. 水素イオンとpH及び緩衝液の性質を説明できる。 2. 酵素と酵素以外の触媒の違いを説明できる。	手塚
3	10/21	糖質の代謝	1. 糖質の分類 2. ブドウ糖の分解とグリコーゲンの合成	1. デンプンと砂糖とブドウ糖の違いを説明できる。 2. ブドウ糖がエネルギーに変わる仕組みを説明できる。	手塚
4	10/28	脂質の代謝	1. 脂質の分類 2. 脂肪酸の合成と分解	1. 中性脂肪とコレステロールの違いを説明できる。 2. 余剰のカロリーが脂肪に変わる仕組みを説明できる。	手塚
5	11/4	タンパク質の代謝	1. アミノ酸の特徴 2. アミノ基、生体アミン	1. アミノ酸の構造と必須アミノ酸の定義を説明できる。 2. アミノ基の代謝と代表的な生体アミンを説明できる。	手塚
6	11/11	タンパク質の設計 図としての遺伝子	1. 染色体とDNA 2. セントラルドグマ	1. 染色体とDNAの関係を説明できる。 2. DNAの情報とタンパク質とのつながりを説明できる。	手塚
7	11/18	ビタミン	1. ビタミンの分類 2. 欠乏症	1. 水溶性ビタミンと脂溶性ビタミンについて説明できる。 2. ビタミンの欠乏によって生じる疾患を説明できる。	手塚
8	11/25	筋・運動	筋細胞・運動神経	筋肉が動くメカニズムと反射が説明できる。	手塚

科目名			担当教員		
口腔生化学			手塚 誠		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	1	15	講義	○
授業の目的 (GIO)	歯科医学では、ヒトの正常な身体について形態・構造の面から学ぶ解剖学と、機能の面から学ぶ生理学・生化学が最も基礎となる学問である。構造と機能は表裏一体であり、関連しながら学ぶ事により、より効率的に生体のメカニズムを理解できる。				
教科書	歯科衛生学シリーズ「生化学・口腔生化学」(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験・実技試験の結果を評価する。				
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師：手塚 誠				
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、口腔生化学を講義し、歯科医学を学ぶ基礎を習得させる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	12/2	消化・吸収	消化管の機能	消化・吸収のメカニズムが説明できる。	手塚
2	12/9	血液・循環	血液循環	1. 血液循環について説明できる。 2. 血液の組成と機能について説明できる。	手塚
3	12/16	中枢神経系	中枢神経	中枢神経の機能が説明できる。	手塚
4	1/13	末梢神経系・呼吸	末梢神経・呼吸運動	1. 末梢神経の機能が説明できる。 2. 呼吸運動のメカニズムが説明できる。	手塚
5	1/20	感覚	体性感覚・特殊感覚	感覚受容器と伝達経路が説明できる。	手塚
6	1/27	排泄・体温	排泄機能・体温調節	1. 排泄機能を説明できる。 2. 体温調節のメカニズムを説明できる。	手塚
7	2/3	内分泌・生殖	内分泌調節・生殖機能	1. 内分泌調節のメカニズムが説明できる。 2. 女性の生殖機能が説明できる。	手塚
8	2/10	まとめ	まとめ	まとめ	手塚

科目名			担当教員		
口腔解剖学			手塚 誠		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	○
授業の目的 (GIO)	歯科医療に従事するものとして、歯科医学の基礎として、歯と口腔の構造と機能を学ぶ。学ぶ対象と視点から大きく以下の2つに分類し、それぞれについて理解する。 1. 口腔の構造と機能 2. 歯の構造、種類と機能				
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験・実技試験の結果を評価する。				
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師：手塚 誠				
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯の解剖学・口腔組織学を講義し、歯科医学の基礎を習得させる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/7	口腔解剖学序論	口腔とは 口腔解剖学の概要	1. 口腔の各部位の名称と特徴を説明する。 2. 固有口腔と口腔前庭の特徴を説明する。	手塚
2	4/14	歯の概要	歯の概要、歯の種類と歯式 歯の形態・方向と面、部位	1. 歯の概要、種類、歯式を説明する。 2. 歯の形態に関する用語を説明する。	手塚
3	4/21	歯の表徴と概観	歯の外表面の特徴 歯の外観と内観	1. 歯の3表徴を説明する。 2. 歯の外観と内観を説明する。	手塚
4	4/28	永久歯1	永久歯の種類と特徴 前歯の形態の特徴	1. 永久歯の種類と特徴を説明する。 2. 永久歯・前歯の形態と特徴を説明する。	手塚
5	5/12	永久歯2	小白歯の種類と特徴	小白歯の形態の特徴を説明する。	手塚
6	5/19	永久歯3	大白歯の種類と特徴	大白歯の形態の特徴を説明する。	手塚
7	5/26	乳歯	乳歯の種類と特徴 乳歯の形態の特徴 歯の萌出と時期 乳歯の脱落機序と時期	1. 乳歯の種類と特徴を説明する。 2. 各乳歯の形態と特徴を説明する。 3. 各乳歯の萌出機序と時期を説明する。 4. 乳歯の脱落機序と時期を説明する。	手塚
8	6/2	乳歯の鑑別	乳歯の鑑別演習	乳歯の鑑別を通じて、乳歯のかたちへの理解をより深める。	手塚
9	6/9	永久歯の鑑別	永久歯の鑑別演習	永久歯の鑑別を通じて、永久歯のかたちへの理解をより深める。	手塚
10	6/16	歯の配列と咬合	歯の配列と咬合の概要	歯の配列と咬合の概要を説明する。	手塚
11	6/23	口腔の区分と構造・味覚と嗅覚	口腔前庭と固有口腔 口腔の構造	口腔の各部の名称と構造を説明する。	手塚
12	6/30	舌と咽頭	舌のかたちと構造、機能 咽頭のかたちと構造、機能	1. 舌各部の名称と構造、機能を説明する。 2. 咽頭各部の名称と構造、機能を説明する。	手塚

13	7/7	頭蓋骨	頭蓋骨の種類と構成	1. 頭蓋を構成する骨を説明する。 2. 頭蓋骨の外観と構成を説明する。	手塚
14	7/14	口腔を構成する骨	上顎骨と口蓋骨 下顎骨	1. 上顎を構成する骨を説明する。 2. 下顎を構成する骨を説明する。	手塚
15	7/28	下顎の筋と顎関節	咀嚼筋の起始と停止、作用 顎関節の構造と機能	1. 下顎運動に関わる筋を説明する。 2. 顎関節の構造と機能を説明する。	手塚

科目名			担当教員			
生理学・口腔生理学			手塚 誠			
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目	
1	前期	2	30	講義	○	
授業の目的 (GIO)		1. 口腔内に存在する成分の性質を理解する。 2. それらの成分が口腔内での現象とどのように関わるかを理解する。 3. 口腔の正常な機能と機序を理解することにより、疾患の原因や治療について正しく理解できるようにする。				
教科書		歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1解剖学・組織発生学・生理学」(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」(医歯薬出版)				
成績評価		定期試験・実技試験の結果を評価する。				
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：手塚 誠				
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、生理学・口腔生理学を講義し、歯科医学の基礎を習得させる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当	
1	4/10	口腔感覚	脳神経・感覚機能	口腔内の感覚が説明できる。	手塚	
2	4/17	咬合・咀嚼	咬合と咀嚼運動	咀嚼運動の役割とメカニズムが説明できる。	手塚	
3	4/24	嚥下・嘔吐	嚥下反射・嘔吐反射	嚥下反射、嘔吐反射のメカニズムが説明できる。	手塚	
4	5/1	発声	発声の機序	発声のメカニズムが説明できる。	手塚	
5	5/8	唾液	唾液の性状と機能	唾液分泌の機序や機能が説明できる。	手塚	
6	5/15	歯と歯周組織	歯と歯周組織の構造	歯と歯周組織の構造と機能が説明できる。	手塚	
7	5/22	総括	口腔機能	口腔機能のメカニズムが説明できる。	手塚	
8	5/29	骨と筋の生理(骨の生理)	1. 細胞外マトリクス 2. 線維状タンパク質	1. 細胞外のタンパク質の分類を説明できる。 2. コラーゲン分子の特徴を説明できる。	手塚	
9	6/5	歯の構成成分(筋の生理・消化)	1. 歯の無機成分 2. 歯の有機成分	1. ヒドロキシアパタイトの構造と特徴を説明できる。 2. エナメル質、象牙質に特有の有機成分を説明できる。	手塚	
10	6/12	石灰化とカルシウム調節(循環の生理)	1. 石灰化機構 2. 血中カルシウム濃度の調節	1. 骨や歯の石灰化の仕組みを説明できる。 2. カルシウム調節に関わるホルモンを説明できる。	手塚	
11	6/19	唾液の成分(感覚器の生理)(神経)	1. 唾液の無機成分 2. 唾液の有機成分	1. 重炭酸イオンと緩衝能について説明できる。 2. 抗菌作用に関わる有機成分を説明できる。	手塚	
12	6/26	歯の堆積物(呼吸の生理)	ペリクル、ブランク、歯石	後天的に歯に堆積するペリクル、ブランク、歯石の組成と形成機構を説明できる。	手塚	
13	7/3	免疫の概説	自然免疫と獲得免疫	免疫系に関わる細胞とそれらが産生する脂質メディエーター、抗体、サイトカインについて説明できる。	手塚	
14	7/10	口腔疾患の免疫	歯周疾患と免疫	歯周疾患と免疫系との関わり、免疫系が働くことによる生じる病態について説明できる。	手塚	
15	7/17	まとめ	生体分子と口腔	口腔内に存在する分子の分類、特徴について説明できる。	手塚	

科目名			担当教員			
微生物学			手塚 誠			
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目	
1	前期	2	30	講義	○	
授業の目的 (GIO)		微生物の基本的知識を学び、人と感染症の関係を理解する。				
教科書		歯科衛生学シリーズ「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学」(医歯薬出版)				
成績評価		定期試験・実技試験の結果を評価する。				
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：手塚 誠				
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、微生物の基本的知識を講義し、人と感染症の関係を理解させる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当	
1	4/9	微生物の種類	細菌、真菌およびウイルスの特徴	微生物と呼ばれる生物群を理解し、各微生物の違いを説明できる。	手塚	

2	4/16	細菌の一般性状	細菌の観察方法、形態、構造、増殖	細菌の形態観察法、および細菌の一般性状を説明できる。	手塚
3	4/23	滅菌と消毒	滅菌と消毒の定義、滅菌法、消毒法	滅菌と消毒の原理を理解し、具体的方法を説明できる。	手塚
4	4/30	化学療法	化学療法薬、作用機序、薬剤耐性	作用機序による化学療法薬の分類ができる。	手塚
5	5/7	感染	微生物の病原性と宿主の抵抗性	感染の定義と成立要件を理解できる。感染の種類を理解できる。細菌の病原因子と宿主の自然抵抗性を説明できる。	手塚
6	5/14	免疫	免疫の種類	体液性免疫と細胞性免疫の違いを説明できる。	手塚
7	5/21	免疫	免疫機構、抗原抗体反応	抗原と抗体、および主な抗原抗体反応を説明できる。	手塚
8	5/28	免疫	アレルギー	アレルギーの分類および定義を説明できる。	手塚
9	6/4	病原微生物	グラム陽性菌、グラム陰性菌	主な病原細菌の細菌学的特徴と病原因子を説明できる。	手塚
10	6/11	口腔細菌叢	口腔細菌叢と口腔環境	口腔内に多くの細菌が生息していることを理解し、口腔各部位の細菌叢の特徴を説明できる。	手塚
11	6/18	う蝕	バイオフィルム、プラーク、ミュータンスレンサ球菌	プラークがう蝕の成立に重要であることを理解し、ミュータンスレンサ球菌とう蝕の関わりを説明できる。	手塚
12	6/25	歯周病	歯周病原菌	歯周病の各病型に対応する細菌を理解し、それらの細菌学的特徴と病原因子を説明できる。	手塚
13	7/2	その他口腔感染症	真菌症、病巣感染	真菌の一般性状とカンジダ・アルビカンスの特徴を説明できる。	手塚
14	7/9	ウイルス	ウイルスの基本的性状	ウイルスの基本的性状を説明できる。	手塚
15	7/16	ウイルス	DNA ウイルス、RNA ウイルス	ウイルスが原因となる主な感染症を理解し、その原因ウイルスの性状を説明できる。	手塚

科目名			担当教員		
薬理学			手塚 誠		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	30	講義	○
授業の目的 (GIO)		薬物は薬理作用をもつ化学物質であり、疾患の治療や予防を目的として適応される。薬物による生体への影響(薬理作用)を理解し、薬物と疾患との関係、薬物の作用機序や副作用などを習得する。これらを学ぶ上で必要且つ重要となる基礎的知識(生理学・生化学・微生物学など)も確認しながら、総合的に薬理学・歯科薬理学を理解する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学」(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験・実技試験の結果を評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：手塚 誠			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師としての病院勤務の経験を踏まえて薬理学の基本的知識及び治療薬について講義する。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	10/6	総論 1	薬物の定義と分類 薬物の作用	1. 法律による薬物の定義と分類を説明できる。 2. 薬理作用の基本形式とメカニズムを理解する。	手塚
2	10/20	総論 2	薬物動態 1	1. 薬物動態の基本事項を説明できる。 2. 薬物の適用方法の種類、反復・併用効果を理解する。	手塚
3	10/27	総論 3	薬物動態 2 薬物の副作用、医薬品の開発	1. 薬効に影響を及ぼす要因を説明できる。 2. 薬物の副作用、医薬品の開発を理解する。	手塚
4	11/10	中枢神経系と薬	中枢神経系に作用する薬物	1. 全身麻酔薬、催眠薬、向精神薬、抗てんかん薬、鎮痛薬の作用を理解する。	手塚
5	11/17	末梢神経系と薬	自律神経系に作用する薬物	1. 交感神経・副交感神経作動薬・遮断薬の作用を理解する。 2. 筋弛緩薬の作用を理解する。	手塚
6	12/1	局所麻酔薬	局所麻酔薬	1. 局所麻酔薬の分類と作用機序を説明できる。 2. 局所麻酔薬の適応、効果、副作用を理解する。	手塚
7	12/8	循環・呼吸器系と薬	循環・呼吸器系に作用する薬物	1. 高血圧・不整脈・心不全・狭心症・高脂血症治療薬の作用を理解する。 2. 気管支喘息治療薬、鎮咳薬、去痰薬の作用を理解する。	手塚
8	12/15	血液と薬	止血薬、抗血栓薬、抗貧血薬	1. 血液凝固系と線溶系の機序を説明できる。 2. 止血薬、抗血栓薬、抗貧血薬の作用を理解する。	手塚
9	12/22	炎症と薬	抗炎症薬、解熱鎮痛薬	1. 炎症を説明できる。 2. ステロイド性抗炎症薬、非ステロイド性抗炎症薬、解熱鎮痛薬の作用を理解する。	手塚
10	1/19	免疫と薬 1	免疫増強薬、免疫抑制薬	1. 免疫反応、アレルギー反応を説明できる。 2. 免疫増強薬、免疫抑制薬の作用を理解する。	手塚
11	1/26	免疫と薬 2 悪性腫瘍と薬	抗アレルギー薬、ワクチン 抗悪性腫瘍薬	1. 抗アレルギー薬、ワクチンの作用を理解する。 2. 抗悪性腫瘍薬の作用を理解する。	手塚

12	2/2	ビタミン・ホルモンと薬	ビタミン、ホルモン 糖尿病治療薬、骨粗鬆症治療薬	1. ビタミン、ホルモンの作用を理解する。 2. 糖尿病治療薬、骨粗鬆症治療薬の作用を理解する。	手塚
13	2/9	抗感染症薬	抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬	1. 抗感染症薬の分類と作用を理解する。	手塚
14	2/10 ※木2限	消毒薬	消毒薬	1. 消毒薬の種類と用途を説明できる。 2. B型肝炎ウイルス、ヒト免疫不全ウイルスなどに有効な消毒薬を説明できる。	手塚
15	2/16	歯科疾患と治療薬 全体のまとめ	歯・歯髄疾患、歯周疾患、顎・ 口腔粘膜疾患と治療薬、服薬 指導 全体のまとめ	1. 歯と歯髄疾患、歯周疾患、顎・口腔粘膜疾患における治療薬を理解する。 2. 服薬指導を説明できる。 3. 全体のまとめ	手塚

科目名			担当教員		
口腔衛生学（Ⅰ）			手塚 誠		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある 教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	○
授業の目的（GIO）		歯・口腔の疾病予防と健康の保持増進のための原理を理解し、健康づくりの方策を学ぶ。 地域社会における集団レベルでの疾病予防、健康管理に必要とされる知識を学ぶ。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学」（医歯薬出版）			
成績評価		定期試験・実技試験の結果を評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科医師：手塚 誠			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯・口腔の疾病予防と健康の保持増進のための原理等を講義し、地域社会における集団レベルでの疾病予防、健康管理に必要とされる知識を習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/11	歯・口腔の健康増進1	口腔環境の健康と予防の定義と方法	WHOが定めた健康の定義、Leavell&Clarkの予防の水準、ハイリスクストラテジー・ポピュレーションストラテジーを説明できる。	手塚
2	4/18	歯・口腔の健康増進2	WHOの口腔保健目標・健康日本21と健康増進法、歯科口腔保健法	WHO2020の目標、健康日本21の成り立ちや経過、健康増進法、歯科口腔保健法を説明できるようにする。	手塚
3	4/25	歯・口腔の構造1	歯・歯周組織・口腔粘膜・舌・顎関節	歯と口腔の構造について説明できるようにする。	手塚
4	5/2	歯・口腔の構造2	唾液腺・口腔の発生・歯の石灰化・萌出・形成時期・形成異常	唾液腺の種類や働きについて説明できる。 歯と口腔の形成及び発育について説明できる。	手塚
5	5/9	歯・口腔の構造3	口腔機能(咀嚼・発音)・全身の健康との関連性	口腔の機能や全身の健康との関連性について説明できる。	手塚
6	5/16	歯・口腔の不潔	歯・口腔の付着物	プラーク、歯石の形成について説明できる。	手塚
7	5/23	口腔清掃	口腔清掃法の種類、歯磨剤	歯磨剤の組成、配合目的、薬効成分を説明できる。	手塚
8	5/30	歯科疾患の疫学	歯科疾患の疫学的特性	歯科疾患の疫学的特性について説明できる。	手塚
9	6/6	う蝕の予防1	う蝕の基礎知識	う蝕発生要因、機序、リスク評価を説明できる。	手塚
10	6/13	う蝕の予防2	う蝕の予防方法	う蝕発生要因に対応した予防法を説明できる。	手塚
11	6/20	う蝕の予防3	歯とフッ化物	フッ化物によるう蝕予防について説明できる。	手塚
12	6/27	歯周疾患の予防1	歯周疾患の基礎知識	歯周疾患の分類、発生要因、機序、進行を説明できる。	手塚
13	7/4	歯周疾患の予防2	歯周疾患の予防方法	歯周疾患の予防方法を説明できる。	手塚
14	7/11	その他の疾患の予防	口臭・不正咬合の予防	口臭の原因と予防について説明できる。	手塚
15	7/18	ライフステージごとの口腔保健管理	各年代の口腔保健管理	各年代の口腔保健管理について説明できる。	手塚

科目名			担当教員		
口腔衛生学（Ⅱ）			手塚 誠		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある 教員による授業科目
1	後期	1	30	講義	○
授業の目的（GIO）		公衆歯科衛生・地域歯科保健活動に必要な歯科疾患の疫学の基礎として歯科衛生統計について学ぶ。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学」（医歯薬出版）			
成績評価		定期試験・実技試験の結果を評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科医師：手塚 誠			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、公衆歯科衛生・地域歯科保健活動に必要な歯科疾患の疫学の基礎となる歯科衛生統計について講義する。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当

1	10/2	地域保健・公衆衛生1	地域歯科保健の概念・組織	地域歯科保健サービスの現状、組織(保健所・市町村保健センター)の仕組みについて説明できる。	手塚
2	10/9	地域保健・公衆衛生2	8020 運動、健康日本 21、歯科口腔保健法、口腔保健福祉関連施策	8020 運動、健康日本 21、歯科口腔保健法の概要や数値目標を説明できる。	手塚
3	10/16	母子(歯科)保健	母子保健 小児保健 母子歯科保健	母子手帳の交付、妊産婦歯科健康診査、1歳6か月児歯科健康診査、3歳児歯科健康診査を説明できる。	手塚
4	10/23	学校(歯科)保健	学校保健活動と組織 学校歯科保健	1. 学校保健教育、保健管理について説明できる。 2. 学校歯科健康診断と事後措置を説明できる。	手塚
5	10/30	成人(歯科)保健	成人保健対策 成人期の歯科保健	1. 成人(歯科)保健対策について説明できる。 2. 代表的な生活習慣病について説明できる。	手塚
6	11/6	産業(歯科)保健	職業性疾病 産業保健管理 産業保健活動	1. 労働衛生の3管理、THPについて説明できる。 2. 特殊健康診断・歯の酸蝕症や摩耗症を説明できる。	手塚
7	11/13	高齢者(歯科)保健1	高齢者保健制度と関連法規	後期高齢者保険制度について説明できる。	手塚
8	11/20	高齢者(歯科)保健2	介護保険制度	介護保険制度について説明できる。	手塚
9	11/27	精神保健 災害時の歯科保健 国際保健	精神保健・医療・福祉 大規模災害時の保健医療対策と 歯科保健活動 世界の健康問題 国際協力	1. 精神保健・福祉について説明できる。 2. 災害時の歯科衛生士の役割を説明できる。 3. 国際協力の仕組みを説明できる。	手塚
10	12/4	歯科疾患の疫学と歯科保健統計1	疫学の方法 歯科疾患の指標	1. 基本的な研究方法を説明できる。 2. 歯科疾患の指標(DMFT、CPIなど)を説明できる。	手塚
11	12/11	歯科疾患の疫学と歯科保健統計2	歯科疾患の疫学	う蝕、歯周疾患の疫学的特徴を説明できる。	手塚
12	12/18	歯科疾患の疫学と歯科保健統計3	衛生統計の基礎1	1. 疫学調査の進め方を説明できる。 2. 基本統計量(代表値、散布度、相関)について説明できる。	手塚
13	1/15	歯科疾患の疫学と歯科保健統計4	衛生統計の基礎2	1. 推定について説明できる。 2. 検定について説明できる。 3. 基本的な検定手法を説明できる。	手塚
14	1/22	歯科疾患の疫学と歯科保健統計5	保健統計調査	代表的な国家統計、特に歯科疾患実態調査の近年の動向を説明できる。	手塚
15	1/29	まとめ・予備	まとめ・予備	予備。これまでの授業のまとめ。	手塚

科目名			担当教員		
歯科材料学			手塚 誠		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	1	15	講義	○
授業の目的 (GIO)		歯科診療に対する関心を持ち、各項目に対する知識・技術を習得する。また、チーム医療における共同動作の意義を理解し、知識・技術についても習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「歯科材料」(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験・実技試験の結果を評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：手塚 誠			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、臨床経験をもとに、日常で使われている材料の話も交えながら、歯科衛生士に必要な歯科材料の基礎知識を理解させ、関心を持ち主体的に学ぶ姿勢を身につけさせる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	10/1	歯科材料の基礎知識 1	1. 歯科材料と歯科衛生士 2. 所要性質と基本的性質	1. 歯科衛生士になぜ歯科材料の知識が必要かを理解する。 2. 歯科材料の基本的性質について理解する。	手塚
2	10/8	印象材 1	ハイドロコロイド系印象材	アルジネート印象材・寒天印象材の特性について理解する。	手塚
3	10/15	模型材	模型用石膏	模型用石膏の硬化反応と特性について理解する。	手塚
4	10/22	印象材 2	ゴム質印象材	ゴム質印象材の特性について理解する。	手塚
5	10/29	成形修復材	1. 種類と用途 2. 組成と特徴	1. 成形修復材の種類と用途について理解する。 2. 成形修復材の組成と特徴について理解する。	手塚
6	11/5	ワックス、金属	種類、用途、性質	種類、用途、性質について理解する。	手塚
7	11/12	セラミックス	用途、分類、種類、性質	用途、分類、種類、性質について理解する。	手塚
8	11/19	その他の歯科材料 まとめ	1. 小児歯科に関わる材料 2. まとめ	1. 乳歯の被覆冠を列挙できる。 2. 乳歯用既製金属被覆冠の目的を説明できる。 3. 1年間で学んだ歯科材料と臨床を結び付けられる。	手塚

科目名			担当教員		
保険請求方法論			手塚 誠		

学年		開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある 教員による授業科目
3		後期	2	30	演習	○
授業の目的 (GIO)		歯科医療事務職として必要な医療保険の仕組みを理解し、歯科治療における保険請求事務知識を習得することを目的とする。				
教科書		「歯科保険請求マニュアル 令和6年版」(医歯薬出版)				
成績評価		定期試験・実技試験の結果を評価する。				
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科衛生士：八丁 壽華				
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、歯科治療における保険請求事務知識を習得することを目的とする。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当	
1	10/2	医療保険制度	1. 医療保険制度の基礎知識 2. 保険診療のしくみ 3. 医療保険の種類 4. 被保険者証の見方 5. 受付事務の基礎知識 6. その他の保険制度	1. 医療事務の仕事について理解する。 2. 医療保険と保険診療のしくみについて理解する。 3. 医療保険の種類と特徴を理解する。 4. 被保険者証の見方を理解する。 5. カルテの上書きと窓口徴収について理解する。 6. 後期高齢者・公費負担・介護保険制度について理解する。	手塚	
2	10/2	歯科の基礎知識 歯科点数表とその解釈 1 (基本診療料)	1. 歯科の基礎知識 1. 初診料・再診料	1. 医療保険請求に関わる歯牙の解剖と歯牙の表示のしかたを理解する。 1. 初診料・再診料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する	手塚	
3	10/9	歯科点数表とその解釈 2 (特掲診療料)	1. 医学管理等 2. 在宅医療	1. 医学管理等の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。 2. 在宅医療の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。	手塚	
4	10/9	歯科点数表とその解釈 3 (特掲診療料)	1. 投薬料 2. 画像診断	1. 投薬料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。 2. 画像診断料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。	手塚	
5	10/16	歯科点数表とその解釈 4 (特掲診療料)	1. 麻酔料 2. 検査料	1. 麻酔料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。 2. 検査料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。	手塚	
6	10/16	歯科点数表とその解釈 5 (特掲診療料)	1. 歯冠修復・歯冠形成 1	1. 歯冠修復の算定方法と歯冠形成の種類を理解する。 2. 歯冠修復と歯冠形成の関連を修復物の種類ごとに理解する。	手塚	
7	10/23	歯科点数表とその解釈 6 (特掲診療料)	1. 歯冠修復・歯冠形成 2	1. 歯冠修復と歯冠形成の関連を修復物の種類ごとに理解する。	手塚	
8	10/23	歯科点数表とその解釈 7 (特掲診療料) 症例による点数算定と規則 1	1. 歯冠修復・歯冠形成 3 1. 初期う蝕症 1	1. 歯冠修復と歯冠形成の明細書の記載要領について理解する。 1. 初期う蝕症の治療の流れと点数算定を理解する。	手塚	
9	10/30	症例による点数算定と規則 2	1. 初期う蝕症 2	1. 初期う蝕症の点検のポイントを理解する。	手塚	
10	10/30	症例による点数算定と規則 3	1. 歯髄炎	1. 歯髄炎の治療の流れと点数算定を理解する。 2. 歯髄炎の点検ポイントを理解する。	手塚	
11	11/6	症例による点数算定と規則 4	1. 感染根管 1	1. 感染根管の治療の流れと点数算定を理解する。	手塚	
12	11/6	症例による点数算定と規則 5	1. 感染根管 2 2. その他の疾患 3. 歯周疾患 1	1. 感染根管の点検ポイントを理解する。 2. その他の疾患の治療の流れと点数算定を理解する。 3. その他の疾患の点検ポイントを理解する。 4. 歯周疾患の治療の流れと点数算定を理解する。	手塚	
13	11/13	症例による点数算定と規則 6	1. 歯周疾患 2 2. 口腔粘膜等の疾患	1. 歯周疾患の点検ポイントを理解する。 2. 口腔粘膜等の疾患の治療の流れと点数算定を理解する。 3. 口腔粘膜等の疾患の点検ポイントを理解する。	手塚	
14	11/13	症例による点数算定と規則 7	1. 欠損補綴(ブリッジ)	1. ブリッジの作成手順と点数算定を理解する。 2. ブリッジの点検ポイントを理解する。	手塚	
15	11/20 ※1限	症例による点数算定と規則 8	1. 欠損補綴(有床義歯) 2. 欠損補綴(床適合と修理) 3. 再装着と修理 4. 未装着請求	1. 有床義歯の作成手順と点数算定を理解する。 2. 有床義歯の点検ポイントを理解する。 3. 有床義歯の床適合と修理の点数算定と点検ポイントを理解する。 4. 歯冠修復物・ブリッジの再装着・修理の点数算定と点検ポイントを理解する。 5. 未装着請求の点数算定と請求方法を理解する。	手塚	
科目名			担当教員			

高齢者歯科学			八丁 裕次		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	1	30	講義	○
授業の目的 (GIO)		スペシャルニーズのある人へ歯科保健と歯科医療を提供するための態度を習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「高齢者歯科学」(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験・実技試験の結果を評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：八丁 裕次			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、高齢者に歯科保健と歯科医療を提供するために必要な知識を習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/9	スペシャルニーズと歯科	スペシャルニーズとは?	スペシャルニーズと歯科を説明する。	八丁
2	4/16	高齢者歯科総論	老年医学総論、加齢	加齢現象を説明する。	八丁
3	4/23	高齢者歯科各論 1	老化に伴う全身的な変化	全身的な加齢変化を説明する。	八丁
4	4/30	高齢者歯科各論 2	老化に伴う口腔の変化	口腔の加齢変化を説明する。	八丁
5	5/7	高齢者歯科各論 3	高齢者の症候と評価	高齢者の症候と評価を説明する。	八丁
6	5/14	高齢者歯科各論 4	高齢者によく見られる疾患(1)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	八丁
7	5/21	高齢者歯科各論 5	高齢者によく見られる疾患(2)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	八丁
8	5/28	高齢者歯科各論 6	高齢者によく見られる疾患(3)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	八丁
9	6/4	高齢者歯科各論 7	高齢者によく見られる疾患(4)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	八丁
10	6/11	高齢者歯科各論 8	高齢者によく見られる疾患(5)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	八丁
11	6/18	高齢者歯科各論 9	高齢者によく見られる疾患(6)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	八丁
12	6/25	高齢者歯科各論 10	高齢者によく見られる疾患(7)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	八丁
13	7/2	高齢者歯科各論 11	高齢者によく見られる疾患(8)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	八丁
14	7/9	高齢者歯科各論 12	高齢者に対する口腔ケア	高齢者への口腔ケアについて説明する。	八丁
15	7/16	高齢者歯科各論 13	要介護高齢者と歯科保健	要介護高齢者、ターミナルケアと歯科保健について説明する。	八丁

科目名			担当教員		
歯科放射線学			八丁 裕次		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	後期	1	30	講義	○
授業の目的 (GIO)		歯科医療における画像検査法の特徴と適応ならびに歯科診療補助としての十分な知識、技能を有するとともに、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法について理解する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「歯科放射線学」(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験・実技試験の結果を評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：八丁 裕次			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯科医療における画像検査法の特徴と適応ならびに歯科診療補助としての十分な知識、技能を講義し、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法等について理解させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	12/1	放射線とエックス線	1. 自然放射線と人工放射線 2. 放射線の種類 3. エックス線の性質 4. エックス線の単位 5. エックス線の発生	1. 身のまわりの放射線を説明できる。 2. 放射線の種類とエックス線の性質、単位、発生について説明できる。	八丁
2	12/1	歯科衛生士の役割	歯科衛生士の役割	歯科衛生士の役割を理解する。	八丁
3	12/8	放射線の影響	1. 生体に対する影響 2. 放射線障害の分類	放射線の人体に対する影響について、身体的影響と遺伝的影響、確定的影響と確率的影響に関して説明できる。	八丁
4	12/8	歯科用エックス線撮影装置	1. 歯科用エックス線撮影装置 2. 口内法エックス線撮影装置	1. 歯科用エックス線撮影装置の種類について説明できる。 2. 口内法撮影装置の構造について説明できる。	八丁
5	12/15	エックス線フィルム	1. エックス線フィルムの基本構造 2. 口内法、口外法撮影に使用するフィルムと器材	1. エックス線フィルムの基本構造について説明できる。 2. フィルムの種類とその器材の取り扱いについて説明できる。	八丁

6	12/15	エックス線画像の形成と幾何学的因子	1. エックス線画像の形成 2. コントラスト 3. 画像に影響する因子	1. 画像形成の原理と幾何学的因子について説明できる。 2. 被写体コントラストと写真コントラストについて説明できる。 3. 像の拡大、ひずみ、半影、鮮鋭度について説明できる。	八丁
7	12/22	口内法撮影法	1. 二等分法、平行法、咬翼法、咬合法 2. 正放射線投影法と偏心投影法 3. 口内法撮影法の手順	1. 口内法エックス線撮影の種類と適応を説明できる。 2. 水平的垂直的投影法の種類と特徴を説明できる。 3. 口内法エックス線撮影法の手順について説明できる。	八丁
8	12/22	口外法撮影法	1. パノラマエックス線撮影 2. 頭部エックス線規格撮影 3. CT 4. 歯科用コーンビームCT (CBCT) 5. MRI 6. 超音波診断装置(US) 7. シンチグラフィ 8. 造影検査法	1. パノラマエックス線撮影の特徴と適応を説明できる。 2. 頭部エックス線規格撮影の特徴と適応を説明できる。 3. 顎・顔面領域で利用する特殊画像検査法の種類、特徴、適応を説明できる。	八丁
9	1/19	フィルム処理	フィルム処理の流れと管理	フィルム処理の流れと方法、その写真処理について説明できる。	八丁
10	1/19	デジタルエックス線システム	デジタルエックス線撮影の特徴とシステムの種類	デジタルエックス線撮影の特徴とシステムの種類を説明できる。	八丁
11	1/26	正常なエックス線画像	口内法エックス線撮影、パノラマエックス線撮影の正常像	口腔領域で利用されるエックス線撮影で描出される正常像について説明できる。	八丁
12	1/26	病変の画像	病変の画像例	歯および歯周組織の疾患、顎・顔面領域の疾患の異常像について説明できる。	八丁
13	2/2	放射線の防護と管理	1. 放射線防護の目的 2. 被ばくの分類 3. 放射線防護体系 4. 放射線防護の実際 5. 被ばく線量測定	歯科エックス線検査における患者と術者放射線医療従事者の放射線防護について説明できる。	八丁
14	2/2	放射線治療	1. 放射線治療の方法 2. 放射線治療の副作用 3. 放射線治療患者の口腔管理	1. 放射線治療の種類、方法、副作用を説明できる。 2. 放射線治療患者の口腔管理について説明できる。	八丁
15	2/9	歯科放射線学の総括	1. 総括 2. フィルムマウント実習	1. 歯科放射線学に必須とされる項目について再度確認し、理解することができる。 2. 実習を通して、口内法エックス線撮影の正常解剖像について理解できる。	八丁

科目名			担当教員			
臨床検査法			八丁 裕次			
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目	
2	後期	1	30	講義・演習	○	
授業の目的 (GIO)		歯科診療に関心を持ち、各項目に関する知識・技術を習得する。また、チーム医療における共同動作の意義を理解し、知識・技術についても習得する。				
教科書		歯科衛生学シリーズ「臨床検査」(医歯薬出版)				
成績評価		定期試験・実技試験の結果を評価する。				
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：八丁 裕次				
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院勤務経験のある教員が、歯科衛生士として習得すべき臨床検査について講義し、全体的な理解を向上させる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当	
1	12/3	臨床検査1	1. 臨床検査の倫理、安全性、必要性	1. 臨床検査の倫理・安全性・必要性について理解する。 2. 臨床検査と歯科衛生士の役割を説明できる。	八丁	
2	12/3	臨床検査2	1. 検査の種類、検査値の読み方など	検査の種類・成績の表し方・基準値とその変動要因を理解する。	八丁	
3	12/10	臨床検査3	1. 生体検査 (体温・脈拍・血圧)	1. 体温測定の意味を理解し、測定方法を説明できる。 2. 脈拍の意味を理解し、測定方法を説明できる。 3. 血圧測定の意味を理解し、測定方法を説明できる。	八丁	
4	12/10	臨床検査4	1. 生理検査 (心電図・筋電図・血中酸素濃度)	1. 心電図・筋電図・血中酸素飽和度を理解する。 2. 検体検査を説明できる。	八丁	
5	12/17	臨床検査5	1. 採血方法	採血方法を説明できる。	八丁	
6	12/17	臨床検査6	1. 血液検査	1. 血液を使う検査の種類を列挙できる。 2. 貧血の検査を理解する。	八丁	
7	1/14	臨床検査7	1. 血液凝固・線溶系検査	出血性素因の検査を理解する。	八丁	
8	1/14	臨床検査8	1. 生化学検査	肝機能・腎機能・糖代謝の検査を理解する。	八丁	
9	1/21	臨床検査9	1. 免疫・血清検査	炎症の検査を理解する。	八丁	

10	1/21	臨床検査10	1. 免疫・血清検査	1. HBV、HCV、HIVの検査を理解する。 2. アレルギーの検査を理解する。 3. 自己免疫疾患の検査を理解する。	八丁
11	1/28	臨床検査11	1. 血液型検査	血液型検査を理解する。	八丁
12	1/28	臨床検査12	1. 感染症検査	1. 血液沈降速度を理解する。 2. 細菌感染症の検査を理解する。	八丁
13	2/4	臨床検査13	1. 病理検査	病理検査を理解する。	八丁
14	2/4	臨床検査14	1. 口腔領域の臨床検査	口腔領域の検査を説明できる。	八丁
15	2/4 ※3限	臨床検査15	1. 摂食嚥下関連の検査	摂食嚥下関連の検査を説明できる。	八丁

科目名			担当教員		
病理学			坂田 健一郎		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある 教員による授業科目
1	後期	2	30	講義	○
授業の目的 (GIO)	口腔疾患予防に対応した口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、専門的処置を行うための基礎項目を習得する。				
教科書	歯科衛生学シリーズ「疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学」(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験・実技試験の結果を評価する。				
実務経験のある教員 及び実務経験職種	歯科医師：坂田 健一郎				
実務経験を踏まえた 授業の内容	歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、歯および口腔疾患の予防と、口腔の健康の維持・増進を目的とした専門的処置を実践するために必要な基礎知識と技術を身につけさせる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	10/3	インスツルメント 1	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
2	10/10	インスツルメント 2	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
3	10/17	インスツルメント 3	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
4	10/24	インスツルメント 4	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
5	10/31	インスツルメント 5	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
6	11/7	インスツルメント 6	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
7	11/14	インスツルメント 7	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
8	11/21	インスツルメント 8	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
9	11/28	インスツルメント 9	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
10	12/5	インスツルメント 10	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
11	12/12	インスツルメント 11	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
12	12/19	インスツルメント 12	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
13	1/9	インスツルメント 13	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
14	1/16	インスツルメント 14	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
15	1/23	インスツルメント 15	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
科目名			担当教員		
口腔外科学			坂田 健一郎		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある 教員による授業科目
2	後期	1	30	講義	○
授業の目的 (GIO)	口腔疾患予防に対応した口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、専門的処置を行うための基礎項目を習得する。				
教科書	歯科衛生学シリーズ「口腔外科学・歯科麻酔学」(医歯薬出版)				

成績評価		定期試験・実技試験の結果を評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科医師：坂田 健一郎			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、歯および口腔疾患の予防と、口腔の健康の維持・増進を目的とした専門的処置を実践するために必要な基礎知識と技術を身につけさせる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	12/5	インスツルメント 1	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
2	12/5	インスツルメント 2	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
3	12/12	インスツルメント 3	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
4	12/12	インスツルメント 4	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
5	12/19	インスツルメント 5	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
6	12/19	インスツルメント 6	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
7	1/9	インスツルメント 7	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
8	1/9	インスツルメント 8	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
9	1/16	インスツルメント 9	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
10	1/16	インスツルメント 10	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
11	1/23	インスツルメント 11	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
12	1/23	インスツルメント 12	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
13	1/30	インスツルメント 13	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
14	1/30	インスツルメント 14	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田
15	2/6	インスツルメント 15	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	坂田

科目名				担当教員		
コミュニケーション論				笠 華奈恵		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目	
1	後期	2	30	講義	○	
授業の目的 (GIO)		医療従事者として必要なコミュニケーションを実践をとおして身に着ける。				
教科書		【参考書】ウィネット出版 ケア・コミュニケーション				
成績評価		受講態度および検定試験によって評価する。 優 (合格) 良 (不合格【レポート提出可 (不合格【提出物なし				
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科衛生士：笠 華奈恵 看護師：向井 一真				
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科衛生士として歯科診療所に勤務した経験を活かし、勤務経験のある教員が、医療従事者として必要な患者とのコミュニケーションに関する知識と技術を習得させる。 看護師として病院、診療所に勤務した経験を有する教員が、医療従事者として必要なコミュニケーションに関する知識と技術を修得させる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当	
1	10/1	ケア・コミュニケーションの基本的な心構え	医療や介護におけるコミュニケーションを考える視点を身につける	医療コミュニケーションの基本理念を理解できる。	笠	
2	10/8	医療や介護におけるコミュニケーションの役割	コミュニケーションの目的とプロセス	プロフェッショナリズムについて考えることができる。	笠	
3	10/15	好感・信頼感を高めるコミュニケーション	対人コミュニケーションにおけるメッセージ伝達について	非言語コミュニケーションが果たす役割を理解できる。	笠	
4	10/22	好感・信頼感を高めるコミュニケーション2	ケア・コミュニケーションにおける声掛け	場面における声掛けの表現ができる。	笠	
5	10/29	敬意を伝えるコミュニケーション	敬語の種類と使い方 改まった表現 相手に敬意を払う態度と表現	・丁寧語、尊敬語、謙譲語の違いを理解できる。 ・丁寧語、尊敬語、謙譲語への言い換えができる。 ・通常表現を改まった表現へ言い換えができる。 ・相手のプライバシーに配慮した表現や適切な話の切り出し方、切り上げ方を理解できる。	向井	
6	11/5	相手を受容し、共感する	受容、共感と同情 受容と共感のコミュニケーション 交流分析	・受容と共感、同様の違いを説明できる。 ・受容と共感のコミュニケーションに必要な技術を説明できる。 ・交流分析の4つの分析と3つの理論について説明できる。	向井	
7	11/12	苦情やクレームに対応する	苦情・クレーム対応の背景の理解と心構え 苦情・クレーム対応によく使う表現	・欲求の種類を理解し、医療分野での例を挙げることができる。 ・苦情、クレームを聞く三原則を説明できる。 ・苦情、クレーム対応の5ステップを説明できる。	向井	
8	11/19	わかりやすく説明し、同意を確認する	被援助者の理解や自己決定をサポートする説明のステップ わかりやすく説明するスキル	・説明のステップを説明ができる。 ・わかりやすく説明するスキルの種類を理解し実践できる。	向井	
9	11/26	主体的な選択や行動を引き出す	コーチングの基礎知識 コーチング・コミュニケーション コーチング・コミュニケーションのコアスキル コーチングの各ステップにおける表現	・コーチングの3つの支援と3つのエンパワーを説明できる。 ・コーチングにおける支援者の心構えを説明できる。 ・コーチングコミュニケーションのステップと支援活動を説明できる。 ・コーチング・コミュニケーションのコアスキルを説明できる。	向井	
10	12/3	ケーススタディ (コーチング)	コーチングを理解するためのケーススタディ	・コーチングの考え方をケーススタディに反映することができる。	向井	
11	12/10	チームの一員として仕事を進める	情報の共有 報告・連絡・相談 コミュニケーションのミスやエラーを防ぐ よりよいチームワークのためのマナーとコミュニケーション	・被援助者への情報共有をする際の留意事項を説明できる。 ・良い「ホウ・レン・ソウ」の条件を説明できる。 ・コミュニケーションのミスやエラーを防ぐためのスキルを説明できる。 ・職場内での配慮ある表現を説明できる。	向井	
12	12/17	建設的でさわやかに対話する	3つの自己表現のスタイル アサーティブな対人関係を築く アサーティブなコミュニケーションの進め方	・3つの自己表現のスタイルの特徴を説明できる。 ・アサーティブな考え方の4原則を説明できる。 ・アサーティブなコミュニケーションのステップを説明できる。 ・場面に応じたアサーティブな「メッセージ」を説明できる。	向井	
13	1/14	視覚覚言語障害を持つ被援助者とのコミュニケーション	社会における障害について	社会における障害についての理解や受け止め方をすることができる。	笠	
14	1/21	認知症の被援助者とのコミュニケーション	バリデーション・セラピー	認知症ケアにおけるコミュニケーションの重要性を理解できる。	笠	
15	1/28	人生の最期を迎える被援助者とのコミュニケーション	終末期におけるコミュニケーションと配慮	終末期におけるケアをすることができる。	笠	
科目名				担当教員		
歯科予防処置論				笠 華奈恵		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目	
1	前期	1	15	講義	○	

授業の目的 (GIO)	口腔疾患予防に対応した口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、専門的処置を行うための基礎項目を習得する。				
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験・小テストの結果を評価する。				
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科衛生士：笠 華奈恵				
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科衛生士として診療所に勤務した経験を活かし、歯および口腔疾患の予防と、口腔の健康の維持・増進を目的とした専門的処置を実践するために必要な基礎知識を身につけさせる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/8	予防の概念と我が国の健康対策(p2~14)	歯科予防処置と歯科保健指導の意義と特性 概念について説明する。次回小テスト(口腔の科	国試によく出る内容のため健康と予防の概念を理解する。	笠
2	4/15	口腔の基礎知識(p16~27)	歯・歯周組織と口腔の構造と機能を理解する。	確実に口腔の構造と機能を理解してもらおう。 栄養指導と重なる内容もあるためしっかり身につけてもらおう。	笠
3	4/22	う蝕と歯周病の基礎知識①(p28~37)	付着物・沈着物の種類と成分 う蝕と歯周病の進行と分類について	国試においても臨床においても必要な内容のためう蝕と歯周病について説明できるようにする。	笠
4	5/13	う蝕と歯周病の基礎知識②(p38~43)	歯周病の分類と進行プロセス	歯周病の分類を説明できる。	笠
5	5/20	保健行動支援のための基礎知識(p45~56)	コミュニケーションスキル 保健行動と行動変容	歯科保健指導に関する理論と行動変容を説明できる。 保健行動と行動変容の手法を説明できる。	笠
6	5/27	行動変容を促す理論の実践(p57~63)	ストレス ストレス・コーチング	行動療法について理解している。	笠
7	6/3	歯科衛生過程の進め方(p66~87)	歯科衛生過程の概要 記録の意義	歯科衛生過程の全体を説明できる。 歯科衛生過程における記録(書面化)の意義を説明できる。	笠
8	6/10	まとめ授業	国試によく出るポイントと質問受付	基本中の基本なのでわからないがない状態にする。	笠

科目名			担当教員		
歯周病予防 (I)			笠 華奈恵		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	1	30	実習	○
授業の目的 (GIO)	口腔疾患予防に対応した口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、専門的処置を行うための基礎項目を習得する。				
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験・実技試験の結果を評価する。				
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科衛生士：笠 華奈恵				
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、歯および口腔疾患の予防と、口腔の健康の維持・増進を目的とした専門的処置を実践するために必要な基礎知識と技術を身につけさせる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	6/5	フロービング・動揺確認(模型上)	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項 3. 綿栓作成 P113~	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	笠
2	6/5	ポジショニング 手用スクレーパー操作 デンタルミラー操作	1. 器具の名称・用途 2. 姿勢や把持の基本 P156~	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 正しい扱い方ができる。	笠
3	6/12	キュレットスクレーパー	1. 実習用器具の名称・用途 2. 把持方法と手指固定 P167~	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. タイプ別の違いがわかる。 3. 正しい持ち方がわかる。	笠
4	6/12	キュレットスクレーパー2	1. 模型上で正しい操作 2. 部位にあった番号選択 3. 挿入角度とストローク P167~	1. 模型上で正しく器具を挿入できる。 2. 状況に応じた番号選択を説明できる。 3. 正しいストロークができる。	笠
5	6/19	キュレットスクレーパー3	1. 模型上で正しい操作 2. 部位にあった番号選択 3. 挿入角度とストローク P167~	1. 模型上で正しく器具を挿入できる。 2. 状況に応じた番号選択を説明できる。 3. 正しいストロークができる。	笠
6	6/19	確認試験(キュレットスクレーパー)	1. 実技試験(ポジショニング・器具挿入角度・操作角度・ストロークの確認) 2. 筆記試験(使用部位・番号選択) 振り返り授業	1. 模型上で正しく器具を挿入できる。 2. 状況に応じた番号選択を説明できる。 3. 正しいストロークができる。	笠
7	6/26	シャープニング	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 目的・種類 P189~	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	笠
8	6/26	シャープニング2	1. 使用方法 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 使用後のメンテナンス	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	笠
9	7/3	シャープニング(実技試験)	1. 使用方法 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 使用後のメンテナンス	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	笠
10	7/3	歯面研磨(PMTC)	1. 実習用器具の名称・用途 2. 術式 3. 目的・注意事項 P196~	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. ポリッシングの目的を説明できる。 3. 状況に応じた正しい選択ができる。	笠
11	7/10	歯面研磨2(PMTC)	1. 実習用器具の名称・用途 2. 術式 3. 目的・注意事項	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. ポリッシングの目的を説明できる。 3. 状況に応じた正しい選択ができる。	笠

12	7/10	超音波スケーラー バキューム操作	1. 実習用器具の名称・用途 2. 術式 3. 目的注意事項 P177～	1. 使用頻度の高いハンドインストルメントの名称と用途を説明できる。 2. 歯面清掃の目的を説明できる。 3. 状況に応じた正しい選択ができる。	笠
13	7/17	超音波スケーラー	1. 実習用器具の名称・用途 2. 術式 3. 目的注意事項	1. 使用頻度の高いハンドインストルメントの名称と用途を説明できる。 2. 歯面清掃の目的を説明できる。 3. 状況に応じた正しい選択ができる。	笠
14	7/17	超音波スケーラー	1. 実習用器具の名称・用途 2. 術式 3. 目的注意事項	1. 使用頻度の高いハンドインストルメントの名称と用途を説明できる。 2. 歯面清掃の目的を説明できる。 3. 状況に応じた正しい選択ができる。	笠
15	7/18 ※金4限	確認試験（超音波スケーラー後のPMTC） 前歯部または臼歯部	1. 実技試験（器具角度・使用方法の確認） 2. 筆記試験（国試の一部） 振り返り授業	1. 模型上での正しい使用方法ができる。 2. 国試の傾向を理解する。	笠

科目名			担当教員		
う蝕予防処置			笠 華奈恵		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	60	実習	○
授業の目的 (GiO)		口腔疾患予防に対応した口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、専門的処置を行うための基礎項目を習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」（医歯薬出版） 歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論」（医歯薬出版）			
成績評価		定期試験・実技試験の結果を評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科衛生士：笠 華奈恵			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、歯および口腔疾患の予防と、口腔の健康の維持・増進を目的とした専門的処置を実践するために必要な基礎知識と技術を身につけさせる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	10/1	フッ化物の理解	1. フッ化物応用方法 2. 適応時期・対象歯 3. 利点・欠点・種類・特徴	1. フッ化物応用方法の違いが説明できる。 2. フッ化物の毒性と急性中毒への対応を説明できる。	笠
2	10/1	フッ化物歯面塗布	1. フッ化物の塗布方法 2. 術式	1. 使用頻度の高いハンドインストルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	笠
3	10/8	フッ化物歯面塗布 2	1. フッ化物の塗布方法 2. 術式	1. 使用頻度の高いハンドインストルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	笠
4	10/8	フッ化物洗口	1. フッ化物洗口法の種類・特徴 2. 対象者と実施方法 3. 注意事項	1. 使用頻度の高いハンドインストルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	笠
5	10/15	フッ化物配合歯磨剤	1. フッ化物配合歯磨剤の種類・特徴 2. 対象者と実施方法 3. 注意事項 4. 悪心・嘔吐発現フッ化物溶分量の算出方法	1. 使用頻度の高いハンドインストルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。 3. フッ化物の正しい利用方法が説明できる。	笠
6	10/15	フッ化物確認テストと復習	実技（フッ化物を正しく利用できるか 保健指導） 筆記（フッ化物計算式・国試の一部） 振り返り授業	1. 使用頻度の高いハンドインストルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。 3. フッ化物の正しい利用方法が説明できる。	笠
7	10/22	フィッシャーシーラント	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項 3. 術式	1. 使用頻度の高いハンドインストルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。 3. 術式を説明できる。	笠
8	10/22	フィッシャーシーラント 2	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項 3. 術式	1. 使用頻度の高いハンドインストルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。 3. 術式を説明できる。	笠
9	10/29	フィッシャーシーラント 3 確認テスト	実技（準備・術式・保健指導） 筆記試験・解答振り返り	1. 使用頻度の高いハンドインストルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。 3. 術式を説明できる。	笠
10	10/29	診療録の書き方 写真から読み取る	1. カルテの記載の読み方 2. 略称・記入例 3. 写真から読み取る（みんなで）	1. 歯科診療録記載の略称を理解できる。 2. 写真をよみとく。	笠
11	11/5	診療録の書き方 2	1. カルテの記載の読み方 2. 略称・記入例 3. 写真から読み取る（個人で考えさせる）	1. 歯科診療録記載の略称を理解できる。 2. 写真をよみとく。 3. 観察力と指導力をつける。	笠
12	11/5	情報を読み解く 口腔内写真	1. 撮影方法 2. 目的・見方 3. 実践	1. 正しくカメラを使用できるか。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。 3. 正しく判断して理解できるか。	笠
13	11/12	情報を読み解く 2 レントゲン写真	1. 撮影方法 2. 目的・見方 3. 実践	1. 正しくカメラを使用できるか。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。 3. 正しく判断して理解できるか。	笠
14	11/12	情報を読み解く 3 セファロ	1. 撮影方法 2. 目的・見方 3. 実践	1. 正しくカメラを使用できるか。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。 3. 正しく判断して理解できるか。	笠
15	11/19	ラバーダム防湿	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. それぞれの器具を正しく扱うことができる。 2. 1 歯露出をすることができる。	笠
16	11/19	ラバーダム防湿 2	1. 実習用器具の名称・用途（模型上） 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の撤去方法	1. それぞれの器具を正しく扱うことができる。 2. 1 歯露出をすることができる。	笠

17	11/26	ラバーダム防湿 3	1. 実習用器具の名称・用途 (模型上) 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の撤去方法	1. それぞれの器具を正しく扱うことができる。 2. 1 歯露出をすることができる。	笠
18	11/26	ラバーダム防湿 4	1. 実習用器具の名称・用途 (模型上) 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の撤去方法	1. それぞれの器具を正しく扱うことができる。 2. 1 歯露出をすることができる。	笠
19	12/3	確認試験 (ラバーダム防湿)	実技 (装着・使用方法・器具選択) 授業の振り返り	1. 正しくシート・フレーム・クランプを装着できる。 2. 目標時間内に 1 歯露出をすることができる。	笠
20	12/3	歯肉圧排	1. 歯肉圧排の手順 2. 実践	1. 歯肉圧排の目的を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。 3. 模型上で機械的歯肉圧排ができる。	笠
21	12/10	隔壁	1. 実習用器具の名称・用途 2. かどろの名称 3. 隔壁法・歯間分離法	1. 使用頻度の高いハンドインストゥルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	笠
22	12/10	隔壁 2	1. 実習用器具の名称・用途 2. かどろの名称 3. 隔壁法・歯間分離法 (模型上)	1. 使用頻度の高いハンドインストゥルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	笠
23	12/17	隔壁 3	1. 模型上にて実習	1. 正しく器具を装着することができる。 2. 目的・種類を説明することができる。	笠
24	12/17	フッカジアミン	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項 3. 目的・適応	1. 使用頻度の高いハンドインストゥルメントの名称と用途を説明できる。 2. 溶液の性状・特徴を説明できる。 3. 汚染時の対応をすることができる。	笠
25	1/14	フッカジアミン 2	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項 3. 目的・適応	1. 使用頻度の高いハンドインストゥルメントの名称と用途を説明できる。 2. 溶液の性状・特徴を説明できる。 3. 汚染時の対応をすることができる。	笠
26	1/14	オーラルフレイル	1. オーラルフレイル・サルコペニアとは 2. 誤嚥性肺炎	1. オーラルフレイルという概念とはなにか理解している。 2. オーラルフレイルへの予防策を説明できる。	笠
27	1/21	オーラルフレイル 2	1. 口腔機能低下のためのリハビリテーション 2. 誤嚥性肺炎防止させるための訓練	1. オーラルフレイルという概念とはなにか理解している。 2. オーラルフレイルへの予防策を説明できる。	笠
28	1/21	MFT	MFTとはなにか	1. MFTが必要な患者さんを見分ける事ができる。 2. MFT の概念を説明できる。 3. 舌トレーニングの実践ができる。(ガムトレ)	笠
29	1/28	MFT 2	MFTの実践	1. 舌の正しい位置を理解できる。 2. 咀嚼の大切さを説明できる。 3. グループで改善方法を話し合える。	笠
30	1/28	MFT 3	MFTの実践	1. それぞれのトレーニングを行うことができる。 2. 患者さんにあったMFTの実践ができる。	笠

科目名			担当教員		
歯科保健指導論 (I)			笠 華奈恵		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前・後期	3	60	演習	○
授業の目的 (GIO)	口腔保健の基礎を理解するために、口腔内に関心を持ち、歯科衛生士として必要な基礎項目を習得しながら、歯科保健指導に求められる知識を理解し、技術を体得する。				
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験、実技試験および課題の提出状況・結果を評価対象とする。				
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科衛生士：笠 華奈恵				
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科衛生士として歯科診療所勤務経験のある教員が、臨床での応用を見据えブラークコントロールの技術と歯科保健指導法の基本を教育する。 歯科衛生士として病院勤務経験のある教員が、口腔に関心を持ち、口腔保健の基礎と他教科とのつながりを理解できるよう歯科衛生過程の基本を教育する。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/7	歯科衛生士アセスメントとして情報収集と情報整理 (p 90~108)	概要	歯科保健指導の定義を説明できる。	笠
2	4/14	口腔の器質的問題の把握 (p 108~122)	1. 歯の付着物・沈着物 2. 探針 3. プロービング	1. 歯の付着物・沈着物の種類を列挙できる。 2. 自分自身の口腔内状態を観察できる。	笠
3	4/21	口腔機能的問題の把握 (p 123~136)	分析のためのデータを読み方と実践	歯垢を識別できる。 診査方法を理解することができる。	笠
4	4/28	口腔機能的問題の把握 (p 136~153)	画像とう蝕活動性試験	画像を見て状況を理解することができる。 う蝕活動性試験の違いを説明できる。	笠
5	5/12	ブラッシング法 (p 245~260)	1. 歯ブラシの基本操作 2. 毛先を用いるブラッシング法 3. フロス・歯間ブラシ・タフトブラシの説明	1. 歯ブラシの持ち方を説明できる。 2. 各種ブラッシング法を列挙できる。 3. 操作法、適応、特徴を説明できる。 4. 模型上で正しく操作できる。 5. 口腔全体を磨く順番を説明できる。 6. それぞれの口腔ケアの違いを説明できる。	笠
6	5/19	その他の清掃方法 (p 260~270)	フロス・歯間ブラシ・タフトブラシの説明と実践・洗口液・口腔機能管理		笠
7	5/26	生活習慣の指導 (p 270~282)	喫煙指導について	1. 口腔内で各種ブラッシング法を実践できる。 2. 状況に応じて口腔ケアをすすめられる。	笠
8	6/2	食生活の指導 (p 283~299)	1. 食生活とう蝕 2. ストレスマネジメント	1. 生活習慣病を列挙することができる。 2. 生活習慣病に対する対策を説明することができる。	笠
9	6/9	ライフステージに応じた歯科衛生介入(妊産婦期) (p 302~311)	1. 妊産婦の口腔の特徴 2. 妊産婦と授乳期の食生活指導	1. 一般的特徴と口腔の特徴を説明することができる。 2. 口腔衛生指導ができる。 3. 食生活指導ができる。	笠
10	6/16	ライフステージに応じた歯科衛生介入(乳児期) (p 312~321)	1. 乳児期の口腔の特徴 2. 乳児期の食生活指導	1. 一般的特徴と口腔の特徴を説明することができる。 2. 口腔衛生指導ができる。 3. 食生活指導ができる。	笠

11	6/23	ライフステージに応じた 歯科衛生介入(幼児期) (p 3 2 1 ~ 3 2 9)	1. 幼児期の口腔の特徴 2. 幼児期の食生活指導	1. 一般的特徴と口腔の特徴を説明することができる。 2. 口腔衛生指導ができる。 3. 食生活指導ができる。	笠
12	6/30	ライフステージに応じた 歯科衛生介入(学齢期) (p 3 2 9 ~ 3 3 7)	1. 学齢期の口腔の特徴 2. 学齢期の食生活指導	1. 一般的特徴と口腔の特徴を説明することができる。 2. 口腔衛生指導ができる。 3. 食生活指導ができる。	笠
13	7/7	ライフステージに応じた 歯科衛生介入(青年期) (p 3 3 7 ~ 3 4 4)	1. 青年期の口腔の特徴 2. 青年期の食生活指導	1. 一般的特徴と口腔の特徴を説明することができる。 2. 口腔衛生指導ができる。 3. 食生活指導ができる。	笠
14	7/14	ライフステージに応じた 歯科衛生介入(成人期)(p 3 4 4)	1. 成人期の口腔の特徴 2. 成人期の食生活指導	1. 一般的特徴と口腔の特徴を説明することができる。 2. 口腔衛生指導ができる。 3. 食生活指導ができる。	笠
15	7/28	まとめ授業	国試によく出る内容と傾向説明、質問受付	国試の傾向を理解する。	笠
16	10/7	歯周病・予防処置・保健指導 定期試験の振り返り	多く間違えていたものの回答と説明	定期試験の振り返りと質問	笠
17	10/14	ライフステージに応じた 歯科衛生介入(老年期) (p 3 5 4 ~ 3 6 8)	1. 老年期の口腔の特徴 2. 老年期の食生活指導 3. 摂食嚥下障害と栄養	1. 一般的特徴と口腔の特徴を説明することができる。 2. 口腔衛生指導ができる。 3. 食生活指導ができる。 4. 摂食嚥下障害の対策を説明することができる。	笠
18	10/21	配慮を要するものへの 歯科衛生介入(要介護高齢者) (p 3 7 3 ~ 3 8 1)	1. 要介護高齢者の口腔の特徴 2. 要介護高齢者の食生活指導	1. 一般的特徴と口腔の特徴を説明することができる。 2. 口腔衛生指導ができる。 3. 食生活指導ができる。	笠
19	10/28	配慮を要するものへの 歯科衛生介入(障碍児者) (p 382~387)	1. 障碍児者の口腔の特徴 2. 障碍児者の食生活指導	1. 一般的特徴と口腔の特徴を説明することができる。 2. 口腔衛生指導ができる。 3. 食生活指導ができる。	笠
20	11/4	大規模災害被害者 (p 389 ~ 3 9 6)	アセスメントと支援活動	1. 歯科保健指導に必要な患者情報をグループワークで列挙できる。	笠
21	11/11	対象把握 1	患者からの情報収集(グループワーク)	患者に対し必要な検査を述べる ことができる。 (教科書で調べながらOK)	笠
22	11/18	対象把握 2	状況に応じた実践と清掃方法指導(グループワーク)	口腔内に合わせた口腔ケアを列挙できる。 (教科書で調べながらOK)	笠
23	11/25	対象把握3	ライフステージや全身疾患に応じた指導 (グループワーク)	ライフステージに合わせた指導と対策ができる。 (教科書で調べながらOK)	笠
24	12/2	対象把握4	配慮を要する者や災害時の対策、禁煙指導	状況にあわせた指導ができる。 (教科書調べながらOK)	笠
25	12/9	地域歯科保健活動における 健康教育(p 4 0 0 ~ 4 0 7)	健康教育の概要	健康教育の対象と場の特徴を概説できる。	笠
26	12/16	地域歯科保健活動のフィールド (p 4 0 7 ~ 4 1 7)	保育園・幼稚園学校の教育課程と指導	地域歯科保健活動の工夫と留意点を説明できる。	笠
27	1/13	地域歯科保健活動のフィールド (p 4 1 7 ~ 4 2 4)	事業所・保健所・市町村保険センター 地域・病院・施設について	地域歯科保健活動の工夫と留意点を説明できる。	笠
28	1/20	全身疾患の基礎知識 (p 4 2 7 ~ 4 3 5)	特徴・症状・注意事項	それぞれの全身疾患の違いを列挙できる。	笠
29	1/27	口腔清掃指導法	口腔清掃指導実践 スクラビング法 デンタルフロス	診査と保健指導	笠
30	2/3	まとめ授業	国試対策・質問受付	国試によく出る傾向を説明できる。 臨床に向けて想像力と実践力を身につける。	笠

科目名			担当教員		
歯科診療補助論 (I)			笠 華奈恵		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある 教員による授業科目
1	後期	2	60	実習	○
授業の目的 (GIO)	歯科診療に対する関心を持ち、各項目に対する知識・技術を習得する。また、チーム医療における共同動作の意義を理解し、知識・技術についても習得する。				
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論」(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験・実技試験、授業態度、課題の提出、出席状況などから総合的に評価する。				
実務経験のある教員 及び実務経験職種	歯科衛生士：笠 華奈恵				
実務経験を踏まえた 授業の内容	歯科衛生士として実務経験のある教員が、医療職として基本となる身だしなみや感染予防対策、歯科材料の知識と取り扱い方法を教え、臨床で多用される歯科材料の取り扱いと歯科医師と共同して歯科治療を行うための技術と態度を身に付けさせる。 歯科医師として病院勤務している教員が、臨床経験をもとに、日常で使われている材料の話も交えながら、歯科衛生士に必要な歯科材料の基礎知識を理解させ、関心を持ち主体的に学ぶ姿勢を身につけさせる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	10/3	歯科衛生士の業務と歯科診療補助 (P 2 ~)	1. 歯科診療補助の概要 2. 医療安全 3. 消毒・滅菌・医療廃棄物 4. ラベル	1. 身だしなみを整えて実習を行える。 2. 安全に歯科材料の扱いができる。	笠
2	10/3	医療安全と感染予防 (P19~43)	1. 手指消毒 2. グローブ等の着脱	1. 手指衛生の目的を説明できる。 2. 手指衛生の手順を説明できる。 3. 手指衛生の問題点を説明できる。 4. 用途・種類について説明できる。	笠
3	10/10	歯科診療補助における基礎知識 (P45~58)	1. ユニット操作 2. ユニット誘導 (通常・視覚障害)	1. 協力し、助け合いながら作成できる。 2. 指示通りに行うことができる。 3. 歯科用ユニットの構造・機能概説できる。	笠
4	10/10	歯科領域に必要な臨床検査 (P59~79)	1. 血圧計 2. 口臭測定機 3. レントゲン写真誘導 4. 口腔内写真	1. それぞれの臨床検査の術式が理解できる。 2. 器具・材料を丁寧に扱うことができる。 3. 正しい後片付けができる。	笠

5	10/17	共同操作 (P80~P94)	1. ポジショニング・ライティング 2. 器具受け渡し・パキウム操作 3. フォーハンドシステム	1. 補助者のポジショニングができる。 2. 術者のポジショニングが説明できる。 3. 患者のポジショニングを説明できる。 4. 共同動作の概念を説明できる。	笠
6	10/17	保存修復時の診療補助 (P106~123)	1. 保存修復 2. 漂白法 デモ→準備・アシスタント実践	1. 必要機材を列挙できる。 2. 器材・器具を正しく操作できる。 3. 術者に最適なサポートができる。	笠
7	10/24	歯内療法時の診療補助 (P124~149)	歯内療法 デモ→準備・アシスタント実践	1. 必要機材を列挙できる。 2. 器材・器具を正しく操作できる。 3. 術者に最適なサポートができる。	笠
8	10/24	補綴治療時の診療補助 (P150~177)	1. 補綴治療 2. 口腔外科 3. 止血後の対応 デモ→準備・アシスタント実践	1. 必要機材を列挙できる。 2. 器材・器具を正しく操作できる。 3. 術者に最適なサポートができる。	笠
9	10/31	歯科麻酔時の診療補助 (P178~195)	1. 歯科麻酔 (アシスタント) 2. 笑気麻酔 (実践) 3. 救急救命処置	1. 必要機材を列挙できる。 2. 器材・器具を正しく操作できる。 3. 術者に最適なサポートができる。	笠
10	10/31	矯正歯科治療の診療補助 (P196~214)	1. 矯正治療 2. 小児歯科 デモ→準備・アシスタント実践	1. 必要機材を列挙できる。 2. 器材・器具を正しく操作できる。 3. 術者に最適なサポートができる。	笠
11	11/7	妊産婦の診療補助 (P215~231)	1. 妊産婦 2. 高齢者 3. 障害児・者の診療補助 デモ→準備・アシスタント実践 (妊婦体験・障害者目線体験)	1. 患者誘導を正しく説明できる。 2. 各々の立場で課題や改善策を検討できる。 3. 最適な介助ができる。 4. 患者さん目線で立場を考慮することができる。	笠
12	11/7	歯科訪問診療における対応 (P232~252)	1. 診療補助・介助 2. リハビリテーション	1. 患者誘導を正しく説明できる。 2. 各々の立場で課題や改善策を検討できる。 3. 最適な介助ができる。 4. 患者さん目線で立場を考慮することができる。	笠
13	11/14	歯科診療で使用する歯科材料 (1学年はすべて模型上のみ)	アルジネート印象材① 講義・デモ	1. トレーの保管・管理について説明できる。 2. 基本的性質を説明できる。 3. 用途・成分・硬化時間・特徴を説明できる。	笠
14	11/14	歯科診療で使用する歯科材料 (1学年はすべて模型上のみ)	アルジネート印象材② 回転トレー	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。	笠
15	11/21	歯科診療で使用する歯科材料 (1学年はすべて模型上のみ)	アルジネート印象材③ 回転トレー	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。	笠
16	11/21	歯科診療で使用する歯科材料 (1学年はすべて模型上のみ)	アルジネート印象材④ 下顎トレー	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。	笠
17	11/28	歯科診療で使用する歯科材料 (1学年はすべて模型上のみ)	アルジネート印象材⑤ 下顎トレー	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。	笠
18	11/28	歯科診療で使用する歯科材料 (1学年はすべて模型上のみ)	アルジネート印象材⑥ 上顎トレー	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。	笠
19	12/5	歯科診療で使用する歯科材料 (1学年はすべて模型上のみ)	アルジネート印象材⑦ 上顎トレー	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。	笠
20	12/5	歯科診療で使用する歯科材料 (1学年はすべて模型上のみ)	アルジネート印象材⑧ 上下顎トレー	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。	笠
21	12/12	歯科診療で使用する歯科材料 (1学年はすべて模型上のみ)	アルジネート印象材 寒天印象	1. 印象材の性質を説明できる。 2. 寒天印象材の特徴を説明できる。 3. 正しい取り扱いを行うことができる。	笠
22	12/12	歯科診療で使用する歯科材料 (1学年はすべて模型上のみ)	アルジネート印象材 寒天印象	1. 印象材の性質を説明できる。 2. 寒天印象材の特徴を説明できる。 3. 正しい取り扱いを行うことができる。	笠
23	12/19	歯科診療で使用する歯科材料 (1学年はすべて模型上のみ)	連合印象	1. トレーの保管・管理について説明できる。 2. 基本的性質を説明できる。 3. 用途・成分・硬化時間・特徴を説明できる。	笠
24	12/19	歯科診療で使用する歯科材料 (1学年はすべて模型上のみ)	ワックスを使用したバイト	1. 正しい咬合採得を行うことができる。 2. バイトをみて正しく評価することができる。	笠
25	1/9	歯科診療で使用する歯科材料 (1学年はすべて模型上のみ)	アルジネート印象材 石膏	1. 石膏模型作成の必要器材を説明できる。 2. 石膏模型作成の手順と注意点を説明することができる。 3. 石膏の反応熱を確認できる。 4. 練和ができる。	笠
26	1/9	歯科診療で使用する歯科材料 (1学年はすべて模型上のみ)	石膏トリミング	1. 石膏模型作成の必要器材を説明できる。 2. 石膏模型作成の手順と注意点を説明することができる。 3. 石膏の反応熱を確認できる。 4. 練和ができる。	笠

科目名			担当教員		
歯周病予防 (II)			野村 真由美		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある 教員による授業科目
2	前・後期	4	120	実習	○
授業の目的 (GIO)	口腔疾患予防に対応した口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、専門的処置を行うための基礎項目を習得する。すべて相互実習予定。				
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験・実技試験の結果を評価する。				
実務経験のある教員 及び実務経験職種	歯科衛生士：八丁 壽華				
実務経験を踏まえた 授業の内容	歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、歯および口腔疾患の予防と、口腔の健康の維持・増進を目的とした専門的処置を実践するために必要な基礎知識と技術を身につけさせる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/8	口腔内審査・染色	口腔内審査 (歯列不正・歯肉・粘膜・沈着物・ 付着物・う蝕・修復物・補綴装置) 染色・PCR	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 歯垢染色を実施できる。 4. 実習記録を作成できる。	野村
2	4/8	口腔内審査・染色	口腔内審査 (歯列不正・歯肉・粘膜・沈着物・ 付着物・う蝕・修復物・補綴装置) 染色・PCR	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 歯垢染色を実施できる。 4. 実習記録を作成できる。	野村
3	4/15	口腔内審査・染色	口腔内審査 (歯列不正・歯肉・粘膜・沈着物・ 付着物・う蝕・修復物・補綴装置) 染色・PCR	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 歯垢染色を実施できる。 4. 実習記録を作成できる。	野村
4	4/15	口腔内審査・染色	口腔内審査 (歯列不正・歯肉・粘膜・沈着物・ 付着物・う蝕・修復物・補綴装置) 染色・PCR	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 歯垢染色を実施できる。 4. 実習記録を作成できる。	野村
5	4/22	ブローピング	ブローピング (4点法・6点法) 模型上にて復習	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. ブローピングの結果を記録できる。	野村
6	4/22	ブローピング	ブローピング (4点法・6点法) 相互実習	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. ブローピングの結果を記録できる。	野村
7	5/13	口腔内審査・ブローピング	ブローピング (4点法・6点法) 今までの流れを通して時間内に	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. ブローピングの結果を記録できる。	野村
8	5/13	口腔内審査・ブローピング	ブローピング (4点法・6点法) 今までの流れを通して時間内に	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. ブローピングの結果を記録できる。	野村
9	5/20	PMTC	PMTC 相互実習 (前歯のみ)	1. PMTCの定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 患者の安全への配慮ができる。 4. 正しい後片付けができる。	野村
10	5/20	PMTC	PMTC 相互実習 (前歯のみ)	1. PMTCの定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 患者の安全への配慮ができる。 4. 正しい後片付けができる。	野村
11	5/27	PMTC	PMTC 相互実習 (上顎のみ)	1. PMTCの定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 患者の安全への配慮ができる。 4. 正しい後片付けができる。	野村
12	5/27	PMTC	PMTC 相互実習 (上顎のみ)	1. PMTCの定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 患者の安全への配慮ができる。 4. 正しい後片付けができる。	野村
13	6/3	PMTC	PMTC 相互実習 (下顎のみ)	1. PMTCの定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 患者の安全への配慮ができる。 4. 正しい後片付けができる。	野村
14	6/3	PMTC	PMTC 相互実習 (下顎のみ)	1. PMTCの定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 患者の安全への配慮ができる。 4. 正しい後片付けができる。	野村
15	6/10	下顎スケーリング	スケーリング 相互実習 (下顎のみ)	1. 実習の手順を説明できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 状況に応じたスケーラーを選択できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 安全への配慮ができる。	野村

16	6/10	下顎スケーリング	スケーリング 相互実習（下顎のみ）	1. 実習の手順を説明できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 状況に応じたスケーラーを選択できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 安全への配慮ができる。	野村
17	6/17	下顎スケーリング	スケーリング 相互実習（下顎のみ）	1. 実習の手順を説明できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 状況に応じたスケーラーを選択できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 安全への配慮ができる。	野村
18	6/17	下顎スケーリング	スケーリング 相互実習（下顎のみ）	1. 実習の手順を説明できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 状況に応じたスケーラーを選択できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 安全への配慮ができる。	野村
19	6/24	上顎スケーリング	スケーリング 相互実習（上顎のみ）	1. 実習の手順を説明できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 状況に応じたスケーラーを選択できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 安全への配慮ができる。	野村
20	6/24	上顎スケーリング	スケーリング 相互実習（上顎のみ）	1. 実習の手順を説明できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 状況に応じたスケーラーを選択できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 安全への配慮ができる。	野村
21	7/1	上顎スケーリング	スケーリング 相互実習（上顎のみ）	1. 実習の手順を説明できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 状況に応じたスケーラーを選択できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 安全への配慮ができる。	野村
22	7/1	上顎スケーリング	スケーリング 相互実習（上顎のみ）	1. 実習の手順を説明できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 状況に応じたスケーラーを選択できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 安全への配慮ができる。	野村
23	7/8	超音波スケーリング	超音波スケーリング 相互実習	1. 実習の手順を説明できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 状況に応じたスケーラーを選択できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 安全への配慮ができる。	野村
24	7/8	超音波スケーリング	超音波スケーリング 相互実習	1. 実習の手順を説明できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 状況に応じたスケーラーを選択できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 安全への配慮ができる。	野村
25	7/15	超音波スケーリング	超音波スケーリング 相互実習	1. 実習の手順を説明できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 状況に応じたスケーラーを選択できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 安全への配慮ができる。	野村
26	7/15	超音波スケーリング	超音波スケーリング 相互実習	1. 実習の手順を説明できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 状況に応じたスケーラーを選択できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 安全への配慮ができる。	野村
27	7/22	超音波スケーリング	超音波スケーリング 相互実習	1. 実習の手順を説明できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 状況に応じたスケーラーを選択できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 安全への配慮ができる。	野村
28	7/22	超音波スケーリング	超音波スケーリング 相互実習	1. 実習の手順を説明できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 状況に応じたスケーラーを選択できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 安全への配慮ができる。	野村
29	7/29	まとめ	歯科診療の流れ 今までの流れを復習	実技試験に向けての今までの総復習に取り組む。	野村
30	7/29	実技試験 （超音波スケーリング～PMTC）	超音波スケーリングとPMTCまでを時間内に（実習前試験） 実技試験順番待ちの人は練習	1. 正しく器具を扱うことができる。 2. 正しいポジショニングができる。 3. 安全を配慮した声かけができる。 4. 患者さんにあった保健指導ができる。	野村
31	12/1	口腔内審査・染色・超音波スケーリング	口腔内審査・染色・PCR・超音波スケーリング・PMTC までの流れを相互実習	1. 実習の手順を説明できる。 2. 使用機材を準備できる。 3. 状況に応じたスケーラーを選択できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 安全への配慮ができる。 6. 正しい口腔内審査ができる。	野村

歯科保健指導論 (II)			野村 真由美		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある 教員による授業科目
2	前期	3	60	演習	○
授業の目的 (GIO)		口腔疾患予防に対応した口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、専門的処置を行うための基礎項目を習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)			
成績評価		実技試験の結果を評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科衛生士：八丁 壽華			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、歯および口腔疾患の予防と、口腔の健康の維持・増進を目的とした専門的処置を実践するために必要な基礎知識と技術を身につけさせる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/11	ライフステージ別の衛生教育	指導案 計画作り	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. ライフステージにあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。	野村
2	4/11	ライフステージ別の衛生教育	指導案 媒体作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. ライフステージにあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。	野村
3	4/18	ライフステージ別の衛生教育	媒体作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. ライフステージにあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。	野村
4	4/18	ライフステージ別の衛生教育	媒体作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. ライフステージにあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。	野村
5	4/25	ライフステージ別の衛生教育	ロールプレイング	1. 指導案と照らし合わせながら説明ができる。 2. グループで創意工夫ができる。 3. 係分担を話し合える。	野村
6	4/25	ライフステージ別の衛生教育	グループ発表	1. 指導案と照らし合わせながら説明ができる。 2. グループで創意工夫ができる。 3. フィードバックや目標達成度を理解できる。	野村
7	5/2	児童福祉施設での衛生教育	学習指導案・計画	1. 口腔ケアの目的を説明できる。 2. う蝕の成り立ちを説明できる。 3. 目標達成のための方策を討議できる。	野村
8	5/2	児童福祉施設での衛生教育	計画	1. 年齢に応じた指導法を工夫できる。 2. 年齢にそった理解度に配慮ができる。 3. 年齢別の到達目標を説明できる。	野村
9	5/9	児童福祉施設での衛生教育	指導案作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. 年齢にあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。"	野村
10	5/9	児童福祉施設での衛生教育	指導案作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. 年齢にあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。"	野村
11	5/16	児童福祉施設での衛生教育	媒体作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. ライフステージにあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。 4. 正しい知識を伝えることができる。	野村
12	5/16	児童福祉施設での衛生教育	媒体作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. ライフステージにあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。 4. 正しい知識を伝えることができる。	野村
13	5/23	児童福祉施設での衛生教育	媒体作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. ライフステージにあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。 4. 正しい知識を伝えることができる。	野村
14	5/23	児童福祉施設での衛生教育	媒体作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. ライフステージにあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。 4. 正しい知識を伝えることができる。	野村
15	5/30	児童福祉施設での衛生教育	媒体作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. ライフステージにあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。 4. 正しい知識を伝えることができる。	野村

16	5/30	児童福祉施設での衛生教育	媒体作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. ライフステージにあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。 4. 正しい知識を伝えることができる。	野村
17	6/6	児童福祉施設での衛生教育	ロールプレイング	1. 児童の反応を予測することができる。 2. 児童の視線になって各人することができる。 3. 所要時間を確認することができる。	野村
18	6/6	児童福祉施設での衛生教育	ロールプレイング	1. 児童の反応を予測することができる。 2. 児童の視線になって各人することができる。 3. 所要時間を確認することができる。	野村
19	6/13	高齢者施設での衛生教育	学習指導案 計画	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. ライフステージにあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。	野村
20	6/13	高齢者施設での衛生教育	計画	1. 状況に応じた指導法を工夫できる。 2. 年齢にそった理解度に配慮ができる。 3. 年齢別の到達目標を説明できる。"	野村
21	6/20	高齢者施設での衛生教育	指導案作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. 年齢にあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。	野村
22	6/20	高齢者施設での衛生教育	指導案作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. 年齢にあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。	野村
23	6/27	高齢者施設での衛生教育	媒体作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. ライフステージにあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。 4. 正しい知識を伝えることができる。"	野村
24	6/27	高齢者施設での衛生教育	媒体作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. ライフステージにあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。 4. 正しい知識を伝えることができる。"	野村
25	7/4	高齢者施設での衛生教育	媒体作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. ライフステージにあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。 4. 正しい知識を伝えることができる。"	野村
26	7/4	高齢者施設での衛生教育	媒体作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. ライフステージにあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。 4. 正しい知識を伝えることができる。"	野村
27	7/11	高齢者施設での衛生教育	媒体作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. ライフステージにあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。 4. 正しい知識を伝えることができる。"	野村
28	7/11	高齢者施設での衛生教育	媒体作成	1. 指導案と比較しながら指導方法を考えることができる。 2. ライフステージにあった資料を集められる。 3. グループで内容を話し合える。 4. 正しい知識を伝えることができる。"	野村
29	7/18	高齢者施設での衛生教育	ロールプレイング	1. 指導案と照らし合わせながら説明ができる。 2. グループで創意工夫ができる。 3. 係分担任を話し合える。"	野村
30	7/18	高齢者施設での衛生教育	ロールプレイング	1. 指導案と照らし合わせながら説明ができる。 2. グループで創意工夫ができる。 3. 係分担任を話し合える。"	野村

科目名			担当教員		
歯科診療補助論 (II)			野村 真由美		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある 教員による授業科目
2	前期	2	60	実習	○
授業の目的 (GIO)	口腔疾患予防に対応した口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、専門的処置を行うための基礎項目を習得する。				
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論」(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験・実技試験の結果を評価する。				
実務経験のある教員 及び実務経験職種	歯科衛生士：八丁 壽華				

実務経験を踏まえた授業の内容		歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、歯および口腔疾患の予防と、口腔の健康の維持・増進を目的とした専門的処置を実践するために必要な基礎知識と技術を身につけさせる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/9	合着・接着の補助 (P283～300)	合着・接着の概要・特徴 様々な練和方法	1. スパチュラや練板の違いを判断することができる。 2. 硬化反応と特性について説明する。 3. 余剰セメントの除去ができる。 4. 正しい後片付けができる。	野村
2	4/9	合着・接着の補助 (P283～300)	合着・接着の概要・特徴 様々な練和方法	1. スパチュラや練板の違いを判断することができる。 2. 硬化反応と特性について説明する。 3. 余剰セメントの除去ができる。 4. 正しい後片付けができる。	野村
3	4/16	合着・接着の補助 (P283～300)	成形修復の概要	1. スパチュラや練板の違いを判断することができる。 2. 硬化反応と特性について説明する。 3. 余剰セメントの除去ができる。 4. 正しい後片付けができる。	野村
4	4/16	合着・接着の補助 (P283～300)	成形修復の補助	1. スパチュラや練板の違いを判断することができる。 2. 硬化反応と特性について説明する。 3. 余剰セメントの除去ができる。 4. 正しい後片付けができる。	野村
5	4/23	仮封・仮着の補助 (P301～310)	仮封材の基礎知識・特徴 取り扱い (グラスアイオノマーセメント)	1. 目的・性質を説明することができる。 2. 正しい盛り付け操作ができる。	野村
6	4/23	仮封・仮着の補助 (P301～310)	仮封材の取り扱い (水硬性仮封材 ストップピングキャリア レジン系仮封材)	1. 目的・性質を説明することができる。 2. 正しい盛り付け操作ができる。	野村
7	4/30	ワックス (P310～313)	様々な練習ワックスの特徴と用途	1. 特徴・利点・欠点を説明することができる。 2. ワックスの種類・用途を説明することができる。	野村
8	4/30	仮歯作成	仮歯作成(模型上 1歯のみ・小白歯)	1. 仮歯を作成するうえで最適な準備ができる。 2. 正しいバーの当て方を理解できる。 3. アクシデント対策ができる。 4. マージンの判断ができる。	野村
9	5/7	仮歯作成	仮歯作成(模型上 1歯のみ・小白歯)	1. 仮歯を作成するうえで最適な準備ができる。 2. 正しいバーの当て方を理解できる。 3. アクシデント対策ができる。 4. マージンの判断ができる。	野村
10	5/7	仮歯作成	仮歯作成(模型上 1歯のみ・大白歯)	1. 仮歯を作成するうえで最適な準備ができる。 2. 正しいバーの当て方を理解できる。 3. アクシデント対策ができる。 4. マージンの判断ができる。	野村
11	5/14	仮歯作成	仮歯作成(模型上 1歯のみ・大白歯)	1. 仮歯を作成するうえで最適な準備ができる。 2. 正しいバーの当て方を理解できる。 3. アクシデント対策ができる。 4. マージンの判断ができる。	野村
12	5/14	仮歯作成	仮歯作成(模型上 1歯のみ・前歯)	1. 仮歯を作成するうえで最適な準備ができる。 2. 正しいバーの当て方を理解できる。 3. アクシデント対策ができる。 4. マージンの判断ができる。	野村
13	5/21	仮歯作成	仮歯作成(模型上 1歯のみ・前歯)	1. 仮歯を作成するうえで最適な準備ができる。 2. 正しいバーの当て方を理解できる。 3. アクシデント対策ができる。 4. マージンの判断ができる。	野村
14	5/21	仮歯作成	仮歯作成(模型上) 様々なやり方での作成方法	1. 仮歯を作成するうえで最適な準備ができる。 2. 正しいバーの当て方を理解できる。 3. アクシデント対策ができる。 4. マージンの判断ができる。 5. 状況に応じた対策ができる。	野村
15	5/28	裏層材	1. リラインとリベース 2. 粘膜調整剤 3. 適合試験材	1. リベースの違いを説明することができる。 2. 練和に必要な器材を列挙できる。 3. 適切な用途で行うことができる。	野村
16	5/28	歯科診療で使用する歯科材料 (相互)	アルジネート印象材 回転トレー	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。	野村
17	6/4	歯科診療で使用する歯科材料 (相互)	アルジネート印象材 下顎トレー	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。	野村
18	6/4	歯科診療で使用する歯科材料 (相互)	アルジネート印象材 下顎トレー	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。	野村

19	6/11	歯科診療で使用する歯科材料 (相互)	アルジネート印象材 上顎トレー	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。"	野村
20	6/11	歯科診療で使用する歯科材料 (相互)	アルジネート印象材 上顎トレー	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。"	野村
21	6/18	歯科診療で使用する歯科材料 (相互)	アルジネート印象材 上下顎トレー	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。"	野村
22	6/18	歯科診療で使用する歯科材料 (相互)	アルジネート印象材 上下顎トレー	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。"	野村
23	6/25	歯科診療で使用する歯科材料 (相互)	アルジネート印象材 上下顎トレー	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。"	野村
24	6/25	歯科診療で使用する歯科材料 (相互) 実技試験	アルジネート印象材 上下顎トレー	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。"	野村
25	7/2	歯科診療で使用する歯科材料 (相互)	アルジネート印象 石膏	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。"	野村
26	7/2	歯科診療で使用する歯科材料 (相互)	アルジネート印象 石膏	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。"	野村
27	7/9	歯科診療で使用する歯科材料 (相互) 実技試験	スタディモデル提出 実技試験	1. 練和技術の向上ができる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 正しく盛り付けができる。 5. 印象体を評価できる。"	野村
28	7/9	歯科診療で使用する歯科材料 (模型上)	1. パテ印象 (模型上) 2. 光学印象 (模型上)	1. それぞれの印象材を列挙することができる。 2. 正しく光学印象の機器を取り扱うことができる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。	野村
29	7/16	歯科診療で使用する歯科材料 (相互)	1. パテ印象 (模型上) 2. 光学印象 (相互)	1. それぞれの印象材を列挙することができる。 2. 正しく光学印象の機器を取り扱うことができる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。	野村
30	7/16	口腔機能検査と評価 (P369)	1. 口腔機能精密検査 2. 摂食嚥下機能検査	1. 口腔機能低下症を説明することができる。 2. 検査記録に正しく記載することができる。 3. 改善方法を指導することができる。	野村

科目名			担当教員		
歯科保健指導論 (III)			野村 真由美		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある 教員による授業科目
3	前期	1	30	演習	○
授業の目的 (GIO)	口腔疾患予防に対応した口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、専門的処置を行うための基礎項目を習得する。				
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論」(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験の結果を評価する。				
実務経験のある教員 及び実務経験職種	歯科衛生士：八丁 壽華				
実務経験を踏まえた 授業の内容	歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、歯および口腔疾患の予防と、口腔の健康の維持・増進を目的とした専門的処置を実践するために必要な基礎知識と技術を身につけさせる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/17	主な全身疾患とその対応 (P316~)	1. 代謝・内分泌疾患 2. 消化器疾患 3. 循環器疾患	1. 全身疾患の概況と歯科医療への影響が理解できる。 2. 診療上の注意を判断することができる。 3. 歯科衛生士による観察・対応ができる。 4. 口腔内に現れる特徴が列挙できる。	野村

2	4/24	主な全身疾患とその対応	1. 血液疾患 2. 呼吸器疾患 3. 腎・泌尿器疾患 4. 免疫・膠原病	1. 全身疾患の概況と歯科医療への影響が理解できる。 2. 診療上の注意を判断することができる。 3. 歯科衛生士による観察・対応ができる。 4. 口腔内に現れる特徴が列挙できる。	野村
3	5/1	主な全身疾患とその対応	1. 感染症 2. 神経系疾患 3. 精神疾患	1. 全身疾患の概況と歯科医療への影響が理解できる。 2. 診療上の注意を判断することができる。 3. 歯科衛生士による観察・対応ができる。 4. 口腔内に現れる特徴が列挙できる。	野村
4	5/8	主な全身疾患とその対応 (P354~)	1. がん 2. 婦人科疾患 3. 周術期の対応	1. 全身疾患の概況と歯科医療への影響が理解できる。 2. 診療上の注意を判断することができる。 3. 歯科衛生士による観察・対応ができる。 4. 口腔内に現れる特徴が列挙できる。	野村
5	5/15	なぜ歯科衛生士がリスク管理を学ぶのか	1. リスク管理の必要性 2. 歯科衛生士の臨床現場	1. 歯科衛生士がリスク管理をする大切さを説明できる。 2. 被害を最小限に留める判断が必要なことを理解した。	野村
6	5/22	呼吸器に関連する解剖・生理学	誤嚥、窒息、嘔吐予防	1. 肺炎の予防対策を述べることができる。 2. 誤嚥性肺炎のメカニズムを説明ができる。	野村
7	5/29	呼吸器に関連する解剖・生理学	誤嚥した際の抵抗力を高める方法	1. さまざまな機能訓練の違いを説明できる。 2. 咽頭の構造を理解できる。 3. 嚥下の分類を説明できる。	野村
8	6/5	リスク管理に必要な全身状態のアセスメント法	症状からのアセスメント	1. 安全に歯科医療を提供する判断ができる。 2. 患者の症状から適切なアセスメントを大別できる。 3. 疾患別に観察するポイントが違うことを説明できる。	野村
9	6/12	胸部聴診、頸部聴診の方法と聴診音の聞き分け方	それぞれの実際	1. 器具の構造・使用方法を理解している。 2. 呼吸器の問題に対して導入されるデバイスの種類を説明できる。	野村
10	6/19	呼吸療法に使用される医療デバイスの基礎知識	呼吸器の問題に対してのデバイス	1. 器具の構造・使用方法を理解している。 2. 呼吸器の問題に対して導入されるデバイスの種類を説明できる。	野村
11	6/26	呼吸療法に使用される医療デバイスの基礎知識②	それぞれの特徴と観察のポイント	1. 器具の構造・使用方法を理解している。 2. 呼吸器の問題に対して導入されるデバイスの種類を説明できる。	野村
12	7/3	肺理学療法	適応と必要性	肺理学療法とは何か説明ができる。	野村
13	7/10	喀痰吸引の実際	法的根拠と実施要件	歯科衛生士の法的根拠と実施条件を理解できる。	野村
14	7/17	国試対策授業①	過去問の実践解説	1. 歯科衛生士3大業務に関した試験を実践する。 2. 正誤の判断ができる。 3. 必要な対策を絞ることができる。	野村
15	7/24	国試対策授業②	過去問の実践解説	1. 歯科衛生士3大業務に関した試験を実践する。 2. 正誤の判断ができる。 3. 必要な対策を絞ることができる。	野村

科目名				担当教員		
カルテ入力方法論				野村 真由美		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目	
3	後期	2	30	演習	○	
授業の目的 (GIO)		口腔疾患予防に対応した口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、専門的処置を行うための基礎項目を習得する。				
教科書		歯科保険請求マニュアル 令和6年版: 歯の知識と請求の実務 医歯薬出版				
成績評価		定期試験の結果を評価する。				
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科衛生士：八丁 壽華				
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、歯および口腔疾患の予防と、口腔の健康の維持・増進を目的とした専門的処置を実践するために必要な基礎知識と技術を身につけさせる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当	
1	10/2	レセプトと保険請求の仕組み 請求明細書の書き方①	レセプトの基礎知識 保険診療を行うには	1. レセプトの基礎知識を理解できる。 2. レセプト電算処理システムについて説明ができる。 3. 保険診療を行うための手続きがわかる。	野村	
2	10/2	請求明細書の書き方②	基本診療料・リハビリテーション等	1. 患者の情報を収集することができる。 2. 基本診療料の説明ができる。	野村	
3	10/9	請求明細書の書き方③	画像診断・検査	1. 各種画像診断の点数の判断ができる。 2. 検査関連ごとの点数を読み込むことができる。	野村	
4	10/9	請求明細書の書き方④	処置・手術・麻酔	1. 様々な処置の点数を理解できる。 2. おおよその内容をイメージできる。 3. 手術と麻酔のそれぞれの点数の違いを説明できる。	野村	
5	10/16	請求明細書の書き方⑤	処置・手術・麻酔	1. 様々な処置の点数を理解できる。 2. おおよその内容をイメージできる。 3. 手術と麻酔のそれぞれの点数の違いを説明できる。	野村	
6	10/16	請求明細書の書き方⑥	処置・手術・麻酔	1. 様々な処置の点数を理解できる。 2. おおよその内容をイメージできる。 3. 手術と麻酔のそれぞれの点数の違いを説明できる。	野村	
7	10/23	請求明細書の書き方⑦	歯冠修復処置及び欠損補綴	1. 補綴物の特徴の違いを説明できる。 2. 欠損部位への対応と処置が理解できる。	野村	

科目名			担当教員		
衛生学・公衆衛生学			向井 一真		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	後期	1	30	講義	○
授業の目的 (GIO)		人々の健康を保持増進するための概念及び要因を理解し、包括的な問題解決方法の考え方を習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学」(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験・実技試験の結果を評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		看護師：向井 一真			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、歯および口腔疾患の予防と、口腔の健康の維持・増進を目的とした専門的処置を実践するために必要な基礎知識と技術を身につけさせる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	12/2	総論	健康の概念 予防医学の概念	1. 健康と疾病の概念、プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。 2. Leavell & Clark の疾病の自然史を説明できる。	向井
2	12/2	疫学①	疫学の定義および概要	1. 疾病や異常の発生要因を説明できる。 2. 疾病の発生や流行状態を表す指標を説明できる。	向井
3	12/9	疫学②	疫学の方法①	疫学の方法(記述疫学, 分析疫学, 介入研究)を説明できる。	向井
4	12/9	疫学③	疫学の方法②	1. EBM について説明できる。 2. スクリーニング検査について説明できる。 3. リスク指標について説明できる。	向井
5	12/16	人口	人口の動向 人口動態統計	1. わが国および世界の人口動向について説明できる。 2. 人口動態統計(出生, 死亡などに関する統計指標とわが国の動向)を説明できる。	向井
6	12/16	健康と環境①	環境の概念 空気・水と健康	1. 環境の概念について説明できる。 2. 空気の正常成分・異常成分について説明できる。 3. 温熱環境について説明できる。 4. 上水道・下水道および水質基準について説明できる。	向井
7	1/13	健康と環境②	放射線と健康 住居・衣服と健康	1. 非電離放射線, 電離放射線の健康への影響について説明できる。 2. 住環境および衣服と健康の関係について説明できる。	向井
8	1/13	健康と環境③	地球環境の変化と健康への影響 公害と健康への影響	1. 地球温暖化, 酸性雨, オゾン層破壊について説明できる。 2. 環境基本法の定める七公害について説明できる。	向井
9	1/20	健康と環境④	廃棄物処理	1. 廃棄物処理の概要について説明できる。 2. 医療機関における感染性廃棄物の処理について説明できる。	向井
10	1/20	感染症①	感染症の成り立ち	1. 感染と発病の概念について説明できる。 2. 感染成立の三要因について説明できる。	向井
11	1/27	感染症②	感染症の予防	1. 感染症法の理念と同法に基づく類型について説明できる。 2. 主な感染症法の動向について説明できる。	向井
12	1/27	食品と健康①	食品保健	食中毒の疫学と分類について説明できる。	向井
13	2/3	食品と健康②	栄養と健康	1. 日本人の食事摂取基準について説明できる。 2. 食生活指針について説明できる。 3. 国民栄養の現状と問題点について説明できる。	向井
14	2/3	まとめ	まとめ	予備。これまでの授業のまとめ。	向井
15	2/10	まとめ	まとめ	予備。これまでの授業のまとめ。	向井

科目名			担当教員		
衛生行政・社会福祉			向井 一真		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	後期	1	30	講義	○
授業の目的 (GIO)		歯科衛生士として、国民の健康増進と適切な歯科医療を提供するために必要な衛生行政、社会保障および社会福祉に関わる組織、法律について理解する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 保健・医療・福祉の制度」(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験・実技試験の結果を評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		看護師：向井 一真			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、歯および口腔疾患の予防と、口腔の健康の維持・増進を目的とした専門的処置を実践するために必要な基礎知識と技術を身につけさせる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当

1	12/5	わが国の医療制度と 歯科衛生士①	保健医療福祉の学習目的	歯科衛生士の専門性、法律・政令・省令・条例について 理解する。	向井
2	12/5	わが国の医療制度と 歯科衛生士②	医療法、歯科衛生士法	医療法の概要、規定するインフォームドコンセントにつ いて説明できる。	向井
3	12/12	わが国の医療制度と 歯科衛生士③	歯科医師法、歯科技工士法	歯科医療従事者の役割について説明できる。	向井
4	12/12	わが国の医療制度と 歯科衛生士④	医療連携を行う他医療職種との関連法規	歯科医療と連携する医療関係者とその関連法規(保健師助 産師看護師法、薬剤師法等)について説明できる。	向井
5	12/19	医療関係職種①	チーム医療・栄養管理チーム	チーム医療、栄養管理チームにおける歯科医療関係者の 立場を説明できる。	向井
6	12/19	医療関係職種②	地域包括ケアシステム	地域包括ケアシステムの定義や地域保健法等の関連する 法規を説明できる。	向井
7	1/9	医療関係職種③	歯科口腔保健の推進に関する法律や薬 事、感染症に関わる衛生法規	歯科口腔保健に関する法律や薬事法、感染症法や予防接 種法について説明できる。	向井
8	1/9	その他の関係法規①	社会保障制度の沿革、社会保障の目標 と機能、ライフサイクルにおける社会 保障制度、世界の社会保障制度	社会保障の目標・機能、諸外国における社会保障制度と の比較について説明できる。	向井
9	1/16	その他の関係法規②	社会保険行政の組織、医療保険制度、 健康保険法	医療保険制度、審査支払機関について説明できる。	向井
10	1/16	その他の関係法規③	介護保険	介護保険制度・地域包括支援センターについて説明でき る。	向井
11	1/23	社会保障①	年金制度、雇用保険・労働者災害補償 保険制度	年金制度・雇用保険・労働災害補償保険について説明で きる。	向井
12	1/23	社会保障②	社会福祉、社会福祉行政、社会福祉の 担い手、生活保護制度	福祉・介護サービス従事者・生活保護について説明でき る。	向井
13	1/30	社会保障③	児童と家庭の福祉制度、障害者の福祉 制度、高齢者の福祉制度	児童福祉の概要、母子福祉、児童虐待、障害者基本法、 高齢者の保健と福祉について説明できる。	向井
14	1/30	医療の動向	受療状況と国民医療費の現況について	国民医療費の現況について説明できる。	向井
15	2/6 ※2限	まとめ	授業のまとめ	まとめ	向井

科目名			担当教員		
歯科衛生統計学			向井 一真		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある 教員による授業科目
2	後期	1	30	講義	○
授業の目的 (GIO)		歯科衛生士活動に必要な保険医療情報の収集と選択から、データの処理及び解析について学び、歯科臨床で統計学的な解析方法を身に着けるための知識を習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学」(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験・実技試験の結果を評価する。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		看護師：向井 一真			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、歯および口腔疾患の予防と、口腔の健康の維持・増進を目的とした専門的処置を実践するために必要な基礎知識と技術を身につけさせる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	12/4	保健情報と保健統計	・保健情報 ・保健統計 ・保健情報の種類 ・国家統計調査	・データと情報の違いを説明できる。 ・情報の性質を理解できる。 ・EBM (evidence-based medicine) を理解できる。 ・国家保健統計を説明できる。	向井
2	12/4	保健情報と疫学	・疫学総論 ・健康障害の発生要因 ・疫学の方法論	・疫学の定義、目的、曝露、病因論を説明できる。 ・有病および罹患を理解し、有病率、罹患率、累積罹患率を計算できる。 ・スクリーニング検査について説明できる。 ・敏感度及び特異度を計算できる。	向井
3	12/11	歯科疾患の指数①	・数量化と指数 ・う蝕の指数	・指標と指数を理解できる。 ・う蝕の指数を説明できる。	向井
4	12/11	歯科疾患の指数②	・歯周疾患の指数	・歯周疾患の指数を説明できる。	向井
5	12/18	歯科疾患の指数③	・口腔清掃状態の指数	・口腔清掃状態の指数を説明できる。	向井
6	12/18	歯科疾患の指数④	・不正咬合と歯列不正の指数 ・歯のフッ素症指数	・不正咬合と歯列不正の指数を説明できる。 ・歯のフッ素症指数を説明できる。	向井
7	1/15	歯科疾患の指数⑤	・その他の歯科保健指標	・その他の歯科保健指標を説明できる。	向井
8	1/15	保健情報の分析手順	・保健情報の収集 ・調査 ・母集団と標本抽出	・インターネットによる保険情報の収集方法が理解できる。 ・保健調査の基本が理解できる。 ・質問し作成法の基本が理解できる。 ・母集団と標本が理解できる。 ・標本抽出方が理解できる。	向井
9	1/22	保健統計の方法①	・データの特性 ・記述統計	・データの数値の持つ特徴を理解できる。 ・数値に応じた代表値や散布度を選択できる。	向井

10	1/22	保健統計の方法②	・推定と信頼区間 ・検定	・数値の特徴や分布に応じた検定を選択できる。	向井
11	1/29	保健統計の方法③	・保健情報の多変量解析 ・その他	・交絡因子が結果に大きな影響を与えることを知り、その影響を避ける分析法を選択できる。	向井
12	1/29	保健情報の分析演習①	・解析と検定の演習	・検定の流れを述べるができる。 ・t検定を説明できる。 ・ χ^2 検定を説明できる。	向井
13	2/5	保健情報の分析演習②	・データの表現	・図表の種類と特徴を述べるができる。 ・図表作成の基本事項をあげるができる。 ・図表を作成できる。	向井
14	2/5	情報の保護と倫理	・情報社会の特性と問題点 ・情報の開示 ・個人情報の保護 ・インターネットと情報倫理	・情報の特性を理解できる。 ・情報を得る手順を知ることができる。 ・個人情報の扱いを知ることができる。 ・インターネットと情報モラルを理解できる。	向井
15	2/12	まとめ	まとめ	・歯科における情報統計の概要を説明できる。	向井

科目名			担当教員		
救急蘇生法・看護学			向井 一真		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	1	30	講義	○
授業の目的 (GIO)	チーム医療の推進の中で、歯科衛生士が基礎知識として習得すべき看護師の業務等について学ぶことを目的とする。				
教科書	「歯科衛生士のための看護学大意 第4版」 (医歯薬出版)				
成績評価	定期試験・筆記試験の結果を評価する。				
実務経験のある教員及び実務経験職種	看護師：向井 一真				
実務経験を踏まえた授業の内容	看護師として病院・診療所に勤務した経験を活かし、歯科衛生士として勤務する中で習得が望ましい看護技術や医療・保健・福祉連携に必要な基礎知識と技術を身につけさせる。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/10	病院における歯科衛生士の役割	・病院における歯科衛生士の役割	・病院における歯科衛生士の役割を説明できる。	向井
2	4/17	看護の概念 バイタルサイン	・看護の概念 ・バイタルサイン (体温、脈拍)	・看護の概念の概要を説明できる。 ・体温の基準と観察項目を説明できる。 ・脈拍の基準と観察項目を説明できる。	向井
3	4/24	バイタルサイン	・バイタルサイン (呼吸、血圧) ・バイタルサイン測定	・呼吸の基準と観察項目を説明できる。 ・血圧の基準と観察項目を説明できる。 ・バイタルサイン測定の方法と留意点を説明できる。	向井
4	5/1	コミュニケーション	・患者とのコミュニケーション ・患者への支援	・コミュニケーションの種類と構成要素を説明できる。 ・コミュニケーションを阻害する因子を説明できる。 ・属性別の対象者への接し方を説明できる。	向井
5	5/8	安全と安楽	・安楽な体位 ・移乗、移送	・安楽を図るための看護用品について説明ができる。 ・安楽な体位の工夫の方法を説明できる。 ・移乗、移送の方法を説明できる。	向井
6	5/15	栄養と食事	・食べることの意義 ・摂食嚥下障害の食事の選択 ・摂取方法とその援助	・病人食の必要条件を説明できる。 ・摂食嚥下障害時の食事の選択について説明できる。 ・経口摂取困難な患者への摂取方法とその援助について説明できる。	向井
7	5/22	その他の看護技術	・与薬 ・電法 ・吸引	・薬物の保管方法を説明できる。 ・与薬の方法の種類と留意点を説明できる。 ・電法の方法の種類と留意点を説明できる。 ・吸引及び吸入の方法の種類と留意点を説明できる。	向井
8	5/29	歯科衛生士に必要な看護実務	・観察と治療経過記録の作成 ・病院外来での業務 ・入院を要する患者の看護	・看護記録の種類を説明できる。 ・外来での業務の特徴を説明できる。 ・入院を要する患者の看護の特徴を説明できる。	向井
9	6/5	歯科衛生士に必要な看護実務	・口腔ケア ・救急時の看護	・口腔ケア時の患者の状態別の留意点を説明できる。 ・一次救命の流れを説明できる。 ・血管迷走神経反射の処置の要点を説明できる。 ・過換気症候群の処置の要点を説明できる。	向井
10	6/12	歯科衛生士に必要な看護実務	・洗浄・消毒・滅菌 ・感染対策	・洗浄、消毒、滅菌の定義と方法を説明できる。 ・滅菌物の取扱いについて説明できる。 ・消毒薬の種類と適応を説明できる。 ・標準予防策について説明できる。 ・処置別に適切なPPEを選択できる。	向井
11	6/19	歯科衛生士に必要な看護実務	・医療安全対策	・患者影響度分類について説明できる。 ・アクシデントとインシデントについて説明できる。 ・医療現場で起こりうる事故の種類と対策について説明できる。	向井
12	6/26	地域医療活動における歯科衛生士の役割	・地域社会における看護	・在宅医療を必要とする社会背景を説明できる。 ・高齢者を支える制度と社会資源を説明できる。	向井
13	7/3	地域医療活動における歯科衛生士の役割	・保健・医療・福祉との連携	・チームアプローチの基本を説明できる。 ・地域医療に関わる職種について説明できる。 ・地域連携の現状を説明できる。	向井

14	7/10	地域医療活動における歯科衛生士の役割	・在宅医療	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療と介護の連携について説明できる。 ・緩和ケア、終末期看護、訪問看護の概要を説明できる。 ・訪問歯科衛生指導の流れを説明できる。 	向井
15	7/17	まとめ	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の概要について歯科衛生士の目線で説明できる。 	向井

科目名			担当教員		
歯科英語			宮内 裕樹		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	—
授業の目的 (GIO)		歯科衛生士としての処置や指導の際に必要な、基礎的英語力を養う。			
教科書		歯科衛生学シリーズ「歯科英語」(医歯薬出版)			
成績評価		小テスト、定期試験の結果や授業への参加状況を踏まえ、総合的に評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		—			
実務経験を踏まえた授業の内容		—			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/7	英語で自己紹介 ①Making an Appointment by Telephone	・語彙確認 ・会話練習 ・聴解	歯科用語を含めた語彙を増やす 場面に応じた会話力を身に付ける 英文読解力を身に付ける	宮内
2	4/14	①Making an Appointment by Telephone ②Requests for Medicine	・語彙確認 ・会話練習 ・聴解	歯科用語を含めた語彙を増やす 場面に応じた会話力を身に付ける 英文読解力を身に付ける	宮内
3	4/21	②Requests for Medicine	・語彙確認 ・会話練習 ・聴解	歯科用語を含めた語彙を増やす 場面に応じた会話力を身に付ける 英文読解力を身に付ける	宮内
4	4/28	③Emergency Appointments	・語彙確認 ・会話練習 ・聴解	歯科用語を含めた語彙を増やす 場面に応じた会話力を身に付ける 英文読解力を身に付ける	宮内
5	5/12	④National Health Insurance	・語彙確認 ・会話練習 ・聴解	歯科用語を含めた語彙を増やす 場面に応じた会話力を身に付ける 英文読解力を身に付ける	宮内
6	5/19	⑤Asking the Patient to Describe ⑥Asking medical history	・語彙確認 ・会話練習 ・聴解	歯科用語を含めた語彙を増やす 場面に応じた会話力を身に付ける 英文読解力を身に付ける	宮内
7	5/26	⑦Periodontal Disease ⑧Pregnancy	・語彙確認 ・会話練習 ・聴解	歯科用語を含めた語彙を増やす 場面に応じた会話力を身に付ける 英文読解力を身に付ける	宮内
8	6/2	⑨Why Do I need a cleaning ⑩Informed Consent	・語彙確認 ・会話練習 ・聴解	歯科用語を含めた語彙を増やす 場面に応じた会話力を身に付ける 英文読解力を身に付ける	宮内
9	6/9	⑪Sealants	・語彙確認 ・会話練習 ・聴解	歯科用語を含めた語彙を増やす 場面に応じた会話力を身に付ける 英文読解力を身に付ける	宮内
10	6/16	⑫Fluoride Treatment	・語彙確認 ・会話練習 ・聴解	歯科用語を含めた語彙を増やす 場面に応じた会話力を身に付ける 英文読解力を身に付ける	宮内
11	6/23	⑬Tooth Brushing instructions for a child ⑭Tooth Brushing Instructions for an adult	・語彙確認 ・会話練習 ・聴解	歯科用語を含めた語彙を増やす 場面に応じた会話力を身に付ける 英文読解力を身に付ける	宮内
12	6/30	⑮Postoperative Instructions to the Patient	・語彙確認 ・会話練習 ・聴解	歯科用語を含めた語彙を増やす 場面に応じた会話力を身に付ける 英文読解力を身に付ける	宮内
13	7/7	⑯After Treatment	・語彙確認 ・会話練習 ・聴解	歯科用語を含めた語彙を増やす 場面に応じた会話力を身に付ける 英文読解力を身に付ける	宮内
14	7/14	⑰Visit to an American Dental Clinic	・語彙確認 ・会話練習 ・聴解	歯科用語を含めた語彙を増やす 場面に応じた会話力を身に付ける 英文読解力を身に付ける	宮内
15	7/28	総復習	・語彙確認 ・会話練習 ・聴解	学習到達度の確認 重要表現、語彙を復習し理解する	宮内

科目名			担当教員		
情報処理入門			宮内 裕樹		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	30	演習	—
授業の目的 (GIO)		社会で働く上で必要となるコンピューターの基礎的な操作法を身につける。			
教科書		「できるyoutuber式 Google スプレッドシート 現場の教科書」(株式会社インプレス) 独自作成の教材・資料			
成績評価		小テスト、定期試験の結果や授業への参加状況を踏まえ、総合的に評価する。			

実務経験のある教員 及び実務経験職種		—			
実務経験を踏まえた 授業の内容		—			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	10/6	Googleドキュメントにおける 表の作成	1.表の作成方法 2.基礎的な文字入力や文字の装飾、表 の組み方 3.作成したファイルの取り扱い	1.ドキュメントで表の作成を学ぶ。 2.基礎的な文字入力や文字の装飾、表の組み方を身につける。 3.実際に印刷し、掲示することを考え資料を作成する。 保存やコピー、フォルダ管理など、コンピューター上で 作成したファイルの取り扱いを身につける。	宮内
2	10/20	Googleドキュメントにおける 表の作成	1.表の作成方法 2.基礎的な文字入力や文字の装飾、表 の組み方 3.作成したファイルの取り扱い	1.ドキュメントで表の作成を学ぶ。 2.基礎的な文字入力や文字の装飾、表の組み方を身につける。 3.実際に印刷し、掲示することを考え資料を作成する。 保存やコピー、フォルダ管理など、コンピューター上で 作成したファイルの取り扱いを身につける。	宮内
3	10/27	Googleスプレッドシートを用 いて表を作成する	1.スプレッドシートの基本操作 2.カレンダー作成	1.エクセルの基礎的な操作を説明できる。 2.表の構成を考え、作成できる。 3.表作成の作業量を減らすことができる。	宮内
4	11/10	Googleスプレッドシートを用 いて表を作成する	1.スプレッドシートの基本操作 2.カレンダー作成	1.エクセルの基礎的な操作を説明できる。 2.表の構成を考え、作成できる。 3.表作成の作業量を減らすことができる。	宮内
5	11/17	基礎的な表計算と関数	1.スプレッドシートにおける数字の 取り扱いや、計算方法を学ぶ。 2.関数の入力方法や、実際の使われ方 を身につけ、実践する。	1.数字の取り扱いや、計算方法を説明できる。 2.関数の入力方法や使われ方を実践できる。	宮内
6	12/1	基礎的な表計算と関数	1.スプレッドシートにおける数字の 取り扱いや、計算方法を学ぶ。 2.関数の入力方法や、実際の使われ方 を身につけ、実践する。	1.数字の取り扱いや、計算方法を説明できる。 2.関数の入力方法や使われ方を実践できる。	宮内
7	12/8	条件によって変化させる関数	1.金銭の計算を題材にした表計算を身 につける。 2.I F関数を用い、条件によって表示 される内容を変化させることを学ぶ。	1.表計算により金銭の計算ができる。 2.I F関数の使用方法を説明できる。	宮内
8	12/15	条件によって変化させる関数	1.金銭の計算を題材にした表計算を身 につける。 2.I F関数を用い、条件によって表示 される内容を変化させることを学ぶ。	1.表計算により金銭の計算ができる。 2.I F関数の条件によって表示される内容を変化させる ことができる。	宮内
9	12/22	日付の計算とデータの検索	1.日数や年数など日付の計算を身につ ける。 2.入力したデータを検索し、表示させ る関数を学ぶ。	1.日数や年数など日付の計算について説明できる。 2.入力したデータを検索し、表示させる関数を説明でき る。	宮内
10	1/19	日付の計算とデータの検索	1.日数や年数など日付の計算を身につ ける。 2.入力したデータを検索し、表示させ る関数を学ぶ。	1.日数や年数など日付の計算を実践できる。 2.入力したデータを検索し、表示させる関数を利用でき る。	宮内
11	1/26	プレゼンテーション資料作成 ①	1.パワーポイントを用い、プレゼン資 料の作成をする。 2.実際のプレゼンテーションを見てど んなことができるのかを学ぶ。 3.テーマに沿って全体の構成を決定 し、内容を考える。	1.パワーポイントの基礎を説明できる。 2.プレゼンテーションの全体の構成を決定できる。	宮内
12	2/2	プレゼンテーション資料作成 ②	1.良いプレゼンテーションにするため には何が必要で何が不要なのかを考 える。 2.観客に印象付けるための工夫を学 ぶ。 3.完成したプレゼンテーションを見 る。	1.良いプレゼンテーションに必要なポイントを説明でき る。 2.観客に印象付けるための工夫ができる。	宮内
13	2/10	プレゼンテーション資料作成 ③	1.良いプレゼンテーションにするため には何が必要で何が不要なのかを考 える。 2.観客に印象付けるための工夫を学 ぶ。 3.完成したプレゼンテーションを見 る。	1.良いプレゼンテーションに必要なポイントを説明でき る。 2.観客に印象付けるための工夫ができる。	宮内
14	2/10	プレゼンテーション資料作成 ④	1.良いプレゼンテーションにするため には何が必要で何が不要なのかを考 える。 2.観客に印象付けるための工夫を学 ぶ。 3.完成したプレゼンテーションを見 る。	1.良いプレゼンテーションに必要なポイントを説明でき る。 2.観客に印象付けるための工夫ができる。 3.他のプレゼンテーションを見て工夫されている点を述 べることができる。	宮内
15	2/16	まとめ	講義全体のまとめと補足	ドキュメント・スプレッドシート・スライドの概要を説 明できる。	宮内

科目名			担当教員		
文書表現法			宮内 裕樹		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	—
授業の目的 (GIO)		1. 基本的な文章を読み、理解する力をつける。 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ。 3. 自分の理解した内容を表現する力をつける。 4. ビジネスにおける基本的な文章力を身に付ける。 *学生の状況により、一部変更あり			
教科書		(参考書)「よくわかる社会人の基礎知識 (マナー、文書、仕事)の基本」(株式会社ぎょうせい)			
成績評価		小テスト、定期試験の結果や授業への参加状況を踏まえ、総合的に評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		—			
実務経験を踏まえた授業の内容		—			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/10	ガイダンス 話し言葉・書き言葉 ビジネス文書の基本 (106p~107p)	・話し言葉、書き言葉の使い分け ・ビジネス文書の特徴 ・文書作成の留意点 ・文章表記の基本	文章表現を学ぶ意義を理解する 話し言葉、書き言葉の違いを理解する ビジネスの場で使われる正しい文書、表現を学習し活用できる	宮内
2	4/17	待遇表現 (18p~22p)	・敬語の働き (尊敬語、謙譲語)	敬語を3つの用法に使い分けられることができる 敬語を適切に用いて表現することができる	宮内
3	4/24	ビジネス文書の基本 (108~112p)	・正しい文章表現 ・現代仮名遣い ・同音異義語 ・文書の構成	正しいビジネス文書作成における表現パターンを理解する 現代仮名遣いを理解し、活用できる 文書の構成【起承転結・PREP法】を用いて活用できる	宮内
4	5/1	ビジネス文書の基本 (112~114p)	・メールの基本的な書き方 ・メール作成にあたっての留意点	メールの基本的な書き方、機能と留意点を理解し、作成できる。	宮内
5	5/8	ビジネス文書の基本 (112~116p)	・メール文書作成解説 ・メールの自己添削 ・文書管理方法	テーマに基づいて作成したメール内容の良し悪しを確認し、修正が必要な箇所を理解する 適切な文書の管理方法を学習する	宮内
6	5/15	社内文書 (117~119p)	・社内文書の種類 ・社内文書の書式 ・社内文書の構成要素 ・社内文書の文例と作成の留意点	社内文書 (指示・命令・報告・連絡)の例を確認し、目的・内容、留意点を踏まえつつ状況に応じた基本的な文章を作成できる。	宮内
7	5/22	社内文書 (119~121p)	・社内文書の種類 ・社内文書の書式 ・社内文書の構成要素 ・社内文書の文例と作成の留意点	社内文書 (指示・命令・報告・連絡)の例を確認し、目的・内容、留意点を踏まえつつ状況に応じた基本的な文章を作成できる。	宮内
8	5/29	社外文書 (130~134p)	・社外文書の種類 ・社外文書の書式 ・社外文書の構成要素 ・社外文書の文例と作成の留意点	会社の外部に向けた文章を目的・内容・留意点を踏まえ、B to B、B to Cに応じた基本的な文章を作成できる。	宮内
9	6/5	社外文書 (134~138p)	・社外文書の種類 ・社外文書の書式 ・社外文書の構成要素 ・社外文書の文例と作成の留意点	会社の外部に向けた文章を目的・内容・留意点を踏まえ、B to B、B to Cに応じた基本的な文章を作成できる。	宮内
10	6/12	来客対応 社外文書 (縦書き) (146p、51~62p)	・封筒、はがきの書き方 ・送付状の作成 ・冠婚葬祭における知識と表現	B to B、B to C向けの封筒、はがき、送付状等の記入方法を学習し、作成できる 冠婚葬祭時に作成するビジネス文書の例を確認し、適切な文章を自身で作成できる	宮内
11	6/19	電話対応	・社内外文書作成まとめ ・作成した文書の添削、解説	学習した社内外文書作成方法を応用し、テーマに沿った文章を作成する。 フィードバックを通して、学習到達度を確認する。	宮内
12	6/26	要約1	・文章の要約方法 ・文章を要約し、制限文字内に収めて記述	文章の要約方法をいくつかの文章例を通して学習し、他者へ要点をまとめ伝達できる	宮内
13	7/3	要約2	・文章の要約方法 ・文章を要約し、制限文字内に収めて記述	文章の要約方法をいくつかの文章例を通して学習し、他者へ要点をまとめ伝達できる	宮内
14	7/10	文書表現法まとめ	総まとめ	学習到達度を確認する	宮内
15	7/17	文書表現法まとめ	総まとめ	学習到達度を確認する	宮内

科目名			担当教員		
臨地実習 (I)			各臨地実習先指導教員		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	後期	4	180	実習	○
授業の目的		歯科診療所以外の場での歯科衛生の実践の場で、歯科衛生に必要な知識や技術について理解し、歯科衛生士の三大業務に必要な能力を習得する。			
教科書		無し			
成績評価		実習に関する記録、レポート及び実習への意欲、関心、態度を総合的に判断して成績評価を行う。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		【各施設の実習指導教員】 医療法、介護保険法等で定められている基準を満たしている施設で実務経験を有する指導者が担当する。			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科衛生に関し相当の臨床経験を有する歯科医師又は歯科衛生士が、卒後、即戦力となる歯科衛生士とすることができるように円滑な歯科診療を進めるための診療補助について習得させる。また、知識と手技の向上を図る指導を行い、患者とのコミュニケーション、対応法について習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
	9～11月 月曜日～金曜日	高齢者施設	高齢者施設における歯科衛生実践を学ぶ。	・高齢者の特徴を踏まえた歯科保健指導等を実践できる。	各施設の 臨床実習指導教員
		児童福祉施設	歯科診療所で、歯科衛生士業務を理解し実践する。	・小児の年齢や発達段階に応じた歯科保健指導等を実践できる。	
科目名			担当教員		
臨地実習 (II)			各臨地実習先指導教員		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
3	前期・後期	16	720	実習	○
授業の目的		歯科衛生の実践の場で、歯科衛生に必要な知識や技術について理解し、歯科衛生士の三大業務に必要な能力を習得する。			
教科書		無し			
成績評価		実習に関する記録、レポート及び実習への意欲、関心、態度を総合的に判断して成績評価を行う。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		【各施設の実習指導教員】 歯科衛生に関し相当の臨床経験を有する歯科医師又は歯科衛生士とし、そのうち少なくとも一人は免許を受けた後4年以上、業務に従事し、十分な指導能力を有する者を臨床実習指導教員としている。			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科衛生に関し相当の臨床経験を有する歯科医師又は歯科衛生士が、卒後、即戦力となる歯科衛生士とすることができるように円滑な歯科診療を進めるための診療補助について習得させる。また、知識と手技の向上を図る指導を行い、患者とのコミュニケーション、対応法について習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
	4月～11月 月曜日～水曜日 及び金曜日	歯科診療所実習	歯科診療所における歯科衛生実践を学ぶ。	歯科衛生士の三大業務について、下記の項目別に設定した学習到達目標の達成をめざす。	各施設の 臨床実習指導教員
		歯科診療補助	歯科診療所で、歯科衛生士業務を理解し実践する。	・専門的治療時の診療補助ができる ・外科処置時の診療補助ができる ・小児歯科治療時の診療補助ができる	
		歯科予防処置	歯科診療所で、歯科衛生士業務を理解し実践する。	・ハンドスケーラー操作ができる ・超音波スケーラー／エアースケーラー操作ができる ・ポケット測定ができる（相互実習を含む） ・歯面清掃ができる（相互実習を含む） ・歯面研磨ができる（相互実習を含む） ・フッ化物歯面塗布ができる ・小窩裂溝充填ができる	
		歯科保健指導	歯科診療所で、歯科衛生士業務を理解し実践する。	・口腔機能向上に向けて口腔機能管理の指導ができる ・患者の主訴を聞き取ることができる ・治療後の歯科保健指導ができる	